



滋賀県立大学 2019年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110121	英語	A (活性化コース)	(人文)	渡 寛法	前期	...	1
1110122	英語	B (活性化コース)	(人文)	渡 寛法	後期	...	3
1110131	英語	A (活性化コース)	(人文)	香山 恵美	前期	...	5
1110132	英語	B (活性化コース)	(人文)	香山 恵美	後期	...	7
1110141	英語	A (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	...	9
1110142	英語	B (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	...	11
1110151	英語	A (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	...	13
1110152	英語	B (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	...	15
1110161	英語	A (活性化コース)	(人文)	関 初海	前期	...	17
1110162	英語	B (活性化コース)	(人文)	関 初海	後期	...	19
1110331	英語	A (応用コース)	(人文)	Graham Jones	前期	...	21
1110332	英語	B (応用コース)	(人文)	Graham Jones	後期	...	23
1110341	英語	A (応用コース)	(人文)	齊藤 倫子	前期	...	25
1110342	英語	B (応用コース)	(人文)	齊藤 倫子	後期	...	27
1110351	英語	A (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	...	29
1110352	英語	B (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	...	31
1110361	英語	A (応用コース)	(人文)	Gordon Maclaren	前期	...	33
1110362	英語	B (応用コース)	(人文)	Gordon Maclaren	後期	...	35
1110371	英語	A (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	...	37
1110372	英語	B (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	...	39
1110531	英語	A (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	...	41
1110532	英語	B (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	...	43
1110541	英語	A (充実コース)	(人文)	真田 満	前期	...	45
1110542	英語	B (充実コース)	(人文)	真田 満	後期	...	47
1110551	英語	A (充実コース)	(人文)	Armando Duarte	前期	...	49
1110552	英語	B (充実コース)	(人文)	坂本 輝世	後期	...	51
1110561	英語	A (充実コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	...	53
1110562	英語	B (充実コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	...	55
1110571	英語	A (充実コース)	(人文)	Graham Jones	前期	...	57
1110572	英語	B (充実コース)	(人文)	Graham Jones	後期	...	59
1110741	英語	A (展開コース)	(人文)	神田 眞喜子	前期	...	61
1110742	英語	B (展開コース)	(人文)	神田 眞喜子	後期	...	63
1110751	英語	A (展開コース)	(人文)	渡 寛法	前期	...	65
1110752	英語	B (展開コース)	(人文)	渡 寛法	後期	...	67
1110761	英語	A (展開コース)	(人文)	菰田 真由美	前期	...	69
1110762	英語	B (展開コース)	(人文)	菰田 真由美	後期	...	71
1110771	英語	A (展開コース)	(人文)	渡 寛法	前期	...	73
1110772	英語	B (展開コース)	(人文)	渡 寛法	後期	...	75
1110781	英語	A (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	前期	...	77
1110782	英語	B (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	後期	...	79
1120505	英語	A (国際)	杉山 真央	前期	...	81	
1120506	英語	B (国際)	中谷 博美	前期	...	83	
1120507	英語	A (国際)	杉山 真央	前期	...	85	
1120508	英語	B (国際)	中谷 博美	前期	...	87	
1120515	英語	A (国際)	Karl Hedberg	前期	...	89	
1120516	英語	B (国際)	Armando Duarte	前期	...	91	
1120517	英語	A (国際)	Karl Hedberg	前期	...	93	
1120518	英語	B (国際)	Armando Duarte	前期	...	95	
1120525	英語	A (国際)	谷口 真紀	前期	...	97	
1120526	英語	B (国際)	坂本 輝世	前期	...	99	
1120527	英語	A (国際)	谷口 真紀	前期	...	101	
1120528	英語	B (国際)	坂本 輝世	前期	...	103	
1120535	英語	A (国際)	齊藤 倫子	後期	...	105	
1120536	英語	B (国際)	Armando Duarte	後期	...	107	
1120537	英語	A (国際)	齊藤 倫子	後期	...	109	
1120538	英語	B (国際)	Armando Duarte	後期	...	111	
1120541	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	前期	...	113	
1120542	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	前期	...	115	
1120551	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	後期	...	117	
1120552	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	後期	...	119	
1120561	フランス語	A (国際)	橋本 周子	前期	...	121	
1120562	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	前期	...	123	
1120571	フランス語	A (国際)	橋本 周子	後期	...	125	
1120572	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	後期	...	127	
1120581	中国語	A (国際)	Borjigin Burensain	前期	...	129	
1120582	中国語	B (国際)	呉 凌非	前期	...	131	
1120591	中国語	A (国際)	Borjigin Burensain	後期	...	133	
1120592	中国語	B (国際)	呉 凌非	後期	...	135	
1120601	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	前期	...	137	
1120602	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	前期	...	139	
1120611	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	後期	...	141	
1120612	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	後期	...	143	
1120620	リーディング(中級)	a	谷口 真紀	後期	...	145	
1120621	リーディング(中級)	b	谷口 真紀	後期	...	147	
1120632	Integrated English	a	Klinger Walter	前期	...	149	

1120633	Integrated English b Klinger Walter	前期	151
1120640	リスニング(中級) a 中谷 博美	前期	153
1120641	リスニング(中級) b 中谷 博美	前期	155
1120653	Introduction to Discussion & Debate a Martin Hawkes	前期	157
1120654	Introduction to Discussion & Debate b Martin Hawkes	前期	159
1120675	Essay Writing John Rippey	後期	161
1120686	Intermediate Academic English John Rippey	前期集中	163
1120695	Advanced Academic English I Martin Hawkes	後期	165
1120705	Advanced Academic English II John Rippey	後期	167
1120715	English for Business Fuisting Bjorn	前期集中	169
1120725	English in Media 中谷 博美	後期	171
1130090	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文a)	山本 洋紀 前期	173
1130100	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文b)	亀田 彰喜 前期	175
1130110	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文c)	山本 洋紀 前期	177
1130120	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文d)	山本 洋紀 前期	179
1130200	情報科学概論(人文b)	亀田 彰喜 後期	181
1130210	情報科学概論(人文a)	山本 洋紀 後期	183
1130220	情報科学概論(人文c)	山本 洋紀 後期	185
1130230	情報科学概論(人文d)	亀田 彰喜 後期	187
1150391	人間探求学(国際コミュニケーション)	学科教員 前期	189
1150451	川の未来学 村上 修一	前期	191
1150560	Model United States of America Benjamin John McCracken	前期	193
1150570	Model United Nations Benjamin John McCracken	後期	195
1201180	経済学(国際経済を含む) 村上 一真	前期	197
1203110	法学概論(国際法を含む) 坂田 雅夫	前期	199
1400013	Discussion & Debate Klinger Walter	前期	201
1400014	Academic Writing Martin Hawkes	後期	203
1400058	アジア文化特論B 河 かおる	前期	205
1400059	アジア文化特論C 島村 一平	後期	207
1400061	アジア文化論A Borjigin Burensain	前期	209
1400062	アジア文化論B 河 かおる	後期	211
1400063	アジア文化論C 島村 一平	前期	213
1400064	アジア文化論D 棚瀬 慈郎	後期	215
1400073	移民社会論B 石川 真作	前期集中	217
1400074	移民社会論C 河 かおる	後期	219
1400091	English Lecture A Martin Hawkes	後期	221
1400092	English Lecture B Martin Hawkes	前期	223
1400093	English Lecture C 谷口 真紀	前期	225
1400094	English Lecture D 小熊 猛	後期	227
1400095	English Lecture E John Rippey	前期後半	229
1400096	English Lecture F 谷口 真紀	後期	231
1400097	English Lecture G Balachandran Jeyadevan	前期	233
1400102	英語学概論 小熊 猛	後期	235
1400103	英語文献講読A 棚瀬 慈郎	前期	237
1400104	英語文献講読B 棚瀬 慈郎	後期	239
1400107	英米文学概論 石井 昌子	前期	241
1400108	英米文学講読 山本 薫	後期	243
1400221	欧米文化特論A 吉村 淳一	後期	245
1400222	欧米文化特論B 橋本 周子	後期	247
1400223	欧米文化特論C 山本 薫	後期	249
1400224	欧米文化特論D John Rippey	後期	251
1400225	欧米文化論A 吉村 淳一	前期	253
1400226	欧米文化論B 橋本 周子	後期	255
1400227	欧米文化論C 山本 薫	後期	257
1400228	欧米文化論D 谷口 真紀	前期	259
1400261	海外留学 学科教員	通年	261
1400262	開発人類学 小河 久志	後期	263
1400361	環琵琶湖文化論実習(国際)	学科教員 通年	265
1400421	基礎演習(国際コミュニケーション)	学科教員 前期	267
1400422	基礎演習(国際コミュニケーション)	学科教員 後期	269
1400611	研究演習(国際コミュニケーション)	学科教員 前期	271
1400612	研究演習(国際コミュニケーション)	学科教員 後期	273
1400632	言語接触論 呉 凌非	前期	275
1400633	現代英文法 小熊 猛	前期	277
1400634	英語学基礎 小熊 猛	前期後半	279
1400635	日本語教育基礎 安本 博司	前期集中	281
1400685	国際社会論 大野 光明	後期	283
1400911	サブカルチャー交流論 飯田 玲子	後期	285
1400965	英語E-learning A Martin Hawkes	後期集中	287
1400966	英語E-learning B John Rippey	前期集中	289
1400967	英語E-learning C 小熊 猛	後期集中	291
1400981	Introduction to Academic English John Rippey	前期	293
1400985	Debating Global Issues Martin Hawkes	前期集中	295
1401720	政治経済学 梅澤 直樹	後期	297
1401759	西洋史 村上 司樹	後期	299
1401826	卒業研究・論文(国際コミュニケーション)	学科教員 前期研究	301
1401828	卒業研究・論文(国際コミュニケーション)	学科教員 後期研究	303
1401865	多文化社会論A 河 かおる	前期	305
1401866	多文化社会論B Borjigin Burensain	後期	307
1402061	チベット語基礎 棚瀬 慈郎	前期	309

1402062	チベット語基礎	棚瀬 慈郎	後期	...	311	
1402081	中国語コミュニケーション	A Borjigin Burensain	後期	...	313	
1402082	中国語コミュニケーション	B 呉 凌非	後期	...	315	
1402083	中国語コミュニケーション	A Borjigin Burensain	前期	...	317	
1402084	中国語コミュニケーション	B 呉 凌非	前期	...	319	
1402087	中国語留学対策	呉 凌非	前期	...	321	
1402151	朝鮮語コミュニケーション	A 崔 眞善	後期	...	323	
1402152	朝鮮語コミュニケーション	B 松井 聖一郎	後期	...	325	
1402153	朝鮮語コミュニケーション	A 河 かおる	前期	...	327	
1402154	朝鮮語コミュニケーション	B 松井 聖一郎	前期	...	329	
1402157	朝鮮語留学対策	崔 眞善	前期	...	331	
1402203	通訳ガイド講座	石井 隆之	前期後半	...	333	
1402281	ドイツ語コミュニケーション	A 吉村 淳一	後期	...	335	
1402282	ドイツ語コミュニケーション	B Anja Sliwa	後期	...	337	
1402283	ドイツ語コミュニケーション	A 吉村 淳一	前期	...	339	
1402284	ドイツ語コミュニケーション	B Anja Sliwa	前期	...	341	
1402287	ドイツ語留学対策	Anja Sliwa	前期	...	343	
1402540	人間文化論A	藤木 庸介	前期	...	345	
1402550	人間文化論B	亀井 若菜	後期	...	347	
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	...	349	
1402621	発展演習	学科教員	前期	...	351	
1402622	発展演習	学科教員	後期	...	353	
1402624	Public Speaking	John Rippey	前期	...	355	
1402901	フランス語コミュニケーション	A 橋本 周子	後期	...	357	
1402902	フランス語コミュニケーション	B Gilles Fernandez	後期	...	359	
1402903	フランス語コミュニケーション	A 橋本 周子	前期	...	361	
1402904	フランス語コミュニケーション	B Gilles Fernandez	前期	...	363	
1402907	フランス語留学対策	Gilles Fernandez	前期	...	365	
1402960	文化人類学概論A	島村 一平	前期	...	367	
1402970	文化人類学概論B	棚瀬 慈郎	後期	...	369	
1402980	文化人類学特論	棚瀬 慈郎	前期	...	371	
1402992	翻訳文化論	呉 凌非	後期	...	373	
1403036	モンゴル語	A 島村 一平	前期	...	375	
1403037	モンゴル語	B 島村 一平	後期	...	377	
1403038	モンゴル語	A 未定*	前期	...	379	
1403039	モンゴル語	B 島村 一平	前期	...	381	
1403051	モンゴル語コミュニケーション	A [モンゴル語コミュニケーション	A] 内田 孝	...	383	
後期				...	385	
1403052	モンゴル語コミュニケーション	B [モンゴル語コミュニケーション	B] 未定*	前	...	387
期				...	389	
1403063	ウイグル式モンゴル文字史料講読	[モンゴル語史料講読]	Borjigin Burensain	後	...	389
期						
1403075	比較宗教論	島村 一平	後期			

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキヤニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト (2回)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキヤニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト (2回)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736
3	ローマの休日		電波実験社	9784864900133

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画 (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとっていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736
3	ローマの休日		電波実験社	9784864900133

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画 (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) start thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) continue thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	25	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each
上記以外	50	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Course introduction, syllabus quiz, getting to know other students. Begin writing one-page story/essay. Topics will be discussed in class.
第2回	Week 2	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第3回	Week 3	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第4回	Week 4	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第5回	Week 5	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第6回	Week 6	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第7回	Week 7	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第8回	Week 8	Students read aloud their writing to the class. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第9回	Week 9	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第10回	Week 10	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第11回	Week 11	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第12回	Week 12	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第13回	Week 13	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第14回	Week 14	Final presentations.
第15回	Week 15	Final presentations.

担当者から一言

It's OK to make mistakes as long as you try your best. A word on plagiarism (盗作): do your own original work on all assignments. Do not copy from the internet. Do not copy from other students. Students caught engaging in plagiarism will be subject to discipline

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.
レポート課題	25	Homework: There will be writing and speaking homework on various topics.
上記以外	50	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Homework: Begin writing midterm paper.
第2回	Week 2	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第3回	Week 3	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第4回	Week 4	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第5回	Week 5	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第6回	Week 6	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第7回	Week 7	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第8回	Week 8	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第9回	Week 9	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第10回	Week 10	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第11回	Week 11	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第12回	Week 12	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第13回	Week 13	Final presentation preparation. Homework: Work on final presentation.
第14回	Week 14	Final presentation preparation and practice presentations. Homework: Continue working on final.
第15回	Week 15	Final presentations.

担当者から一言

It's OK to make mistakes as long as you try your best. A word on plagiarism (盗作): do your own original work on all assignments. Do not copy from the internet. Do not copy from other students. Students caught engaging in plagiarism will be subject to discipline

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)							担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page story or essay.
第2回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第3回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第4回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第5回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第6回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第7回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第8回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第11回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第12回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第13回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.
担当者から一言		

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)							担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page story or essay.
第2回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live. Teacher checks students have begun their writing.
第3回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live. Teacher checks students have begun their writing.
第4回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第5回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第6回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第7回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第8回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	Jobs and the wrokplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace.
第11回	Jobs and the workplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace.
第12回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on superlatives.
第13回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on superlatives.
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.
担当者から一言		

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	INTRODUCTION	Class & Pair reading of Luggage Mix-Up; Accusation and Apology
第2回	Patching Things Up	Offering Help and Getting to Know a Stranger [II] 第2回-13回 PAIR-ACT DRAMA SCENE
第3回	Realization Of & Panic Over a Mistake	Calming Someone Down [III]
第4回	Calling For Assistance	Giving Information over the Phone [IV]
第5回	Upholding Household Rules	Receiving and Confirming Good News [V]
第6回	Getting Over Jet Lag	Talking About Sleepiness and One ' s Job [VI]
第7回	A ' Thank You ' Coffee	Expressing Gratitude and Setting Up a Date [VII+VIII]
第8回	Sharing and Eliciting Wonderful News	Warning Over High Expectations [IX]
第9回	Relating a Tough Situation	Asking About Job Qualifications [X]
第10回	Returning to the Beginning	The Luggage Mix-Up Conflict [I]
第11回	First Date	Banter, Sharing Likes, Dislikes and Goals in Common [XI]
第12回	Under the Table	Sharing Suspicions and Teasing About Anxieties [XII]
第13回	Stand-In	Subbing For Someone ill at Work [XIII] ; NEW SCENE BRAINSTORMING
第14回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.
第15回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.
担当者から一言		

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon MacLaren
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	INTRODUCTION	Review Scenes I-XIII; Class>> Pair reading of Doing Someone 's Hair
第2回	Keeping Up With Friends ' Lives	Shocking News Over the Phone [XV] 第2-8回PAIR-ACT DRAMA SCENE
第3回	Sharing Mixed Results	Celebrating, Evading and Consoling [XVI]
第4回	Adjusting to a Changed Situation	A Dream Future [XVII]
第5回	Breaking Some Bad News...But with a Silver Lining	Signing On [XVIII]
第6回	Working Out	Sharing Success; Asking a Big Favour [XIX]
第7回	The End'	The Drama's Resolution [XX]
第8回	Review Entire Story	Scene XIV Performance for any Excused Absence students
第9回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第10回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第11回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第12回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第13回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第14回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第15回	OFFICIAL EXAM DATE	Interviews for yet-to-be interviewed / late students & reports

担当者から一言

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English Publications	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Memory and the Past	Talking about your weekend.
第3回	Memory and the Past	Quiz 1, Asking about the past.
第4回	The Real You	Quiz 2, Talking about your good and bad points, song 1.
第5回	The Real You	Your horoscope and learning to learn 2.
第6回	My Favorites	Quiz 3, Talking about books, movies, and music.
第7回	My Favorites	Which do you prefer...?, song 2.
第8回	Let's Eat!	Quiz 4, Talking about food and cuisine.
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	Let's Eat!	Tastes and textures.
第11回	Experiences	Quiz 5, Talking about some of you good and bad experiences.
第12回	Experiences	Have you...?, song 3.
第13回	Future Plans	Quiz 6, Can you see your future?
第14回	Future Plans	Hopes and dreams for the future.
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	
担当者から一言		

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらにそれらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につつ

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において、英語を音読し、発言することで弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	World English 2	Kristin L. Johannsen他	Cengage	9781285848709
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。また、正確な英文法に注意しながら、論理的な英語を書く力を養う。英語を書くだけでなく、自分の考えを口頭で発表し、他学生と議論する能力も培う。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	World English 2	Kristin L. Johannsen他	Cengage	9781285848709
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文）						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction Unit 7, part 1	英語IIIAで学んだことの復習 リーディング・パッセージの読解
第2回	Unit 7, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第3回	Unit 8, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第4回	Unit 8, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第5回	Unit 9, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第6回	Unit 9, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第7回	1st quiz TED Talks	第1回小テスト TED教材を使ったリスニング練習
第8回	Unit 10, part 1	小テストの講評 宿題の解答と解説
第9回	Unit 10, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第10回	Unit 11, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第11回	Unit 11, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第12回	Unit 12, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第13回	2nd Quiz TED Talks	第2回小テスト TED教材を使ったリスニング練習
第14回	Unit 12, part 2	小テストの講評 宿題の解答と解説
第15回	Recapitulation	英語IIIBで学んだことのもまとめ
担当者から一言		
英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。		

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

This 4 skills class will introduce various topics about culture and communication every week. Students will listen to conversations, watch videos, and read and write about different topics. Students will be graded on their speaking and writing skills.

到達目標

Every week we will try to complete 1 chapter in the textbook. If we don't finish in class, students should complete those activities as homework.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	Attendance - Please come to class every week. 1 absence = -2% from the final score.
レポート課題	35%	Writing Homework - Students will respond to some question related to the class topic.
上記以外	35%	Speaking Homework - Students will record a speech related to the class topic.

Please submit your homework on time. Any late homework will receive a penalty of 15 points.

授業外学習

This class does not have a midterm or a final examination.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Finding Connections	Todd Rucynski		978-476-474-0761
2				
3				

Please buy the textbook as soon as possible.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Introduce class topics - What made you who you are?
第2回	Week 2	What is good about you?
第3回	Week 3	Can you tell me about music?
第4回	Week 4	When and who did you ask for advice?
第5回	Week 5	Are you easy to live with?
第6回	Week 6	What is your type?
第7回	Week 7	How do you give and receive compliments?
第8回	Week 8	"Do you like me?!"
第9回	Week 9	Can you guess?
第10回	Week 10	Can we work it out?
第11回	Week 11	How do you describe events in detail?
第12回	Week 12	What are you into?
第13回	Week 13	How do you help a friend find the way?
第14回	Week 14	What are you talking about?
第15回	Week 15	Can you tell me a story?

担当者から一言

Please come to my office or email me any time to ask a question! My door is always open.

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を正確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を正確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)							担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション / Unit 1	授業の進め方・評価方法の説明、English activities
第2回	Unit 2 Self-appeal	テキスト内容の確認と発展、English activities
第3回	Unit 3 What is research?	テキスト内容の確認と発展、English activities
第4回	Unit 4 Outline of research	テキスト内容の確認と発展、English activities
第5回	Unit 5 Organizing ideas and data	テキスト内容の確認と発展、English activities
第6回	Unit 6 Research methods	テキスト内容の確認と発展、English activities
第7回	Unit 7 Writing a script	テキスト内容の確認と発展、English activities
第8回	Unit 8 Mini-presentation (1)	プロジェクト中間発表
第9回	Unit 9 Mini-presentation (2)	プロジェクト中間発表
第10回	Unit 10 Responding to questions (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第11回	Unit 11 Responding to questions (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第12回	Unit 12 Written presentation	テキスト内容の確認と発展、English activities
第13回	Unit 13 Final mini-presentation (1)	プロジェクト最終発表
第14回	Unit 14 Final mini-presentation (2)	プロジェクト最終発表
第15回	Unit 15 Final mini-presentation (3)	プロジェクト最終発表
担当者から一言		

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	英語の基礎事項の確認	基礎事項の確認
第2回	Unit1	Part1, 4, 5, 7
第3回	Unit1	Part2, 3, 6
第4回	Unit2	Part1, 4, 5, 7
第5回	Unit2	Part2, 3, 6
第6回	Unit3	Part1, 4, 5, 7
第7回	Unit3	Part2, 3, 6
第8回	Unit4	Part1, 4, 5, 7
第9回	Unit4	Part2, 3, 6
第10回	Unit5	Part1, 4, 5, 7
第11回	Unit5	Part2, 3, 6
第12回	Unit6	Part1, 4, 5, 7
第13回	Unit6	Part2, 3, 6
第14回	暗唱テスト	Unit1～6の復習
第15回	暗唱テスト	Unit1～6の復習

担当者から一言

授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	978-4-7647-4090-7	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	前期の復習	基礎事項の確認
第2回	Unit7	Part1, 4, 5, 7
第3回	Unit7	Part2, 3, 6
第4回	Unit8	Part1, 4, 5, 7
第5回	Unit8	Part2, 3, 6
第6回	Unit9	Part1, 4, 5, 7
第7回	Unit9	Part2, 3, 6
第8回	Unit10	Part1, 4, 5, 7
第9回	Unit10	Part2, 3, 6
第10回	Unit11	Part1, 4, 5, 7
第11回	Unit11	Part2, 3, 6
第12回	Unit12	Part1, 4, 5, 7
第13回	Unit12	Part2, 3, 6
第14回	暗唱テスト	Unit7～12の復習
第15回	暗唱テスト	Unit7～12の復習

担当者から一言
授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
 Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
 Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
 Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
 Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unit 8	Juku culture
第2回	Unit 9	Studying abroad
第3回	Unit 9	Studying abroad
第4回	Unit 10	Cell phone etiquette in public places
第5回	Unit 10	Cell phone etiquette in public places
第6回	Unit 11	Vending machines
第7回	Unit 11	Vending machines
第8回	Unit 12	Robotics research
第9回	Unit 12	Robotics research
第10回	Unit 13	Manga
第11回	Unit 13	Manga
第12回	Unit 14	Karaoke
第13回	Unit 14	Karaoke
第14回	Unit 15	Japanese gardens
第15回	Unit 15	Japanese gardens

担当者から一言

--

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	神田 真喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)(2)(3)について、期末試験で40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(1)(2)について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標(2)(3)(4)について、指示した活動や課題で20%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)					担当教員	神田 真喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習
ナンバリング番号	201ENG203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業概要や方針についての説明。受講者同士の自己紹介。テキストを用いて、授業の流れや予習範囲の確認。
第2回	Chapter 1 What is a Paragraph	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第3回	Chapter 1 What is a Paragraph	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第4回	Chapter 2 Narration	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第5回	Chapter 2 Narration	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第6回	Chapter 3 Process	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第7回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第8回	エッセーを書く(1)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。
第9回	Chapter 4 Description of Feelings	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第10回	Chapter 4 Description of Feelings	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第11回	Chapter 5 Description of People	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第12回	Chapter 6 Description of Places & Locations	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第13回	Chapter 7 Definition	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第14回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第15回	エッセーを書く(2)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。

担当者から一言

担当者から一言

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	神田 眞喜子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標 (1) (2) (3) について、期末試験で30%として評価。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標 (1) (2) について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標 (2) (3) (4) について、指示した活動や課題で20%として評価。 到達目標 (2) (3) についてTOEICのスコアで10%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の概要説明。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

担当者から一言

When life gives you lemons, make lemonade!ピンチをチャンスにできるかは自分次第です。置かれた状況でベストを尽くしてください。

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業では、外国人が実際に体験する日本文化の現地レポートと、様々な国の出身者が自国文化と日本文化の違いを語るディスカッションの映像を見て、世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再認識し、世界へ向けて英語で発信する力を養う。

到達目標

- (1) 語彙力を増強する。
- (2) 英語母語話者および非母語話者による英語を聞き取り、ペアまたはグループ・ワークによって自分の考えを述べる。
- (3) 日本文化を紹介する映像を視聴し、その内容を理解する。
- (4) 日本事象について英語で発信することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標(4)については、レポート課題によって評価する
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(30%)によって評価する。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中の携帯電話の使用は認めない。

授業外学習

毎週の授業について、web動画による視聴および音読を行い、復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Discovering Cool Japan	Akiko Tusuda他	成美堂	978-4-7919-7187-9
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A(展開コース)(人文)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction/授業概要	自己紹介/授業の進め方等の説明
第2回	Unit1: Long-Established Businesses	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第3回	Unit2: Uniforms	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第4回	Unit3: Volunteer Work	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第5回	Unit4: High-Tech Living (Automobiles)	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第6回	Unit5: Japanese Tableware	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第7回	Unit6: Homemakers of Japan	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第8回	Unit7: Seafood	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第9回	Unit8: Voice Actors	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第10回	Unit9: Japanized Foreign Dishes	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第11回	Unit10: Bags	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第12回	Unit11: Senior Citizens (Medical Checkups)	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第13回	Unit12: Money	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第14回	Unit13: Monkeys	ビデオ視聴と内容理解及びペア・グループワーク
第15回	復習	前期学習内容の確認と復習

担当者から一言
授業内の学習だけで英語力を身に付けることは難しいので、隙間時間等を利用して語彙力の定着やリスニング力の養成に努めて下さい。具体的な教材や学習方法についてのアドバイスをいたしますので、気軽に質問してください。

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	菟田 真由美
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業では、NHK World Japanの海外向けニュース番組NEWSLINEを視聴し、国内のニュースを英語で理解し、さらに発信する力を養成する。

到達目標

- (1)時事問題に関する語彙および身近な日本語に対する英語表現を習得する。
- (2)ニュースを聞いて正しくその内容を理解することができる。
- (3)正しい発音とイントネーションを身に付け、ニュースを音読することができる。
- (4)ニュースの内容について自分の意見を英語で述べるすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(4)については、発表及びワークシートの提出で評価する。
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。さらに後期に受験するTOEICスコア(10%)を組み込む。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中は携帯電話等の通信機器の使用は認めない。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となる。

授業外学習

毎週の授業後、各ユニットの映像をオンラインで視聴し、リスニング及びシャドウイング練習を行うこと。さらに、毎週実施する小テストに備えて語彙を覚えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NHK Newsline2	Tatshuro Yamazaki	金星堂	978-4-7647-4072-3
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の概要説明。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。
担当者から一言		
When life gives you lemons, make lemonade! ピンチをチャンスにできるかは自分次第です。置かれた状況でベストを尽くしてください。		

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り、今学期の目標設定。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

担当者から一言

前期に引き続き、TOEIC公式問題集で12月の試験にむけて腕を磨いていきましょう！千里の道も一歩から！A journey of a thousand miles begins with a single step！！

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を正確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってまいります。小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を正確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション / Unit 1	授業の進め方・評価方法の説明、English activities
第2回	Unit 2 Self-appeal	テキスト内容の確認と発展、English activities
第3回	Unit 3 What is research?	テキスト内容の確認と発展、English activities
第4回	Unit 4 Outline of research	テキスト内容の確認と発展、English activities
第5回	Unit 5 Organizing ideas and data	テキスト内容の確認と発展、English activities
第6回	Unit 6 Research methods	テキスト内容の確認と発展、English activities
第7回	Unit 7 Writing a script	テキスト内容の確認と発展、English activities
第8回	Unit 8 Mini-presentation (1)	プロジェクト中間発表
第9回	Unit 9 Mini-presentation (2)	プロジェクト中間発表
第10回	Unit 10 Responding to questions (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第11回	Unit 11 Responding to questions (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第12回	Unit 12 Written presentation	テキスト内容の確認と発展、English activities
第13回	Unit 13 Final mini-presentation (1)	プロジェクト最終発表
第14回	Unit 14 Final mini-presentation (2)	プロジェクト最終発表
第15回	Unit 15 Final mini-presentation (3)	プロジェクト最終発表

担当者から一言

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業は、前期に引き続き、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を精確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を精確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(15%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語 1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

後期から初めてこのクラスを履修する場合は、前期の内容について説明しますので、テキストのUnit 1~15をよく読んで上で、最初の授業前に面談の予約をしてください。

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	杉山 真央
講義コード	1120505	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(杉山担当)本授業では、リスニングに特化した教科書を用いる。授業では、リスニング内容のディクテーションや音読を繰り返し行い、リスニング力の強化を目指す。また、会話で用いられる様々な表現や知識を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	リスニング試験を行う(ディクテーションも含む。詳細は授業中に指示する)。
レポート課題	10	英字新聞等(教科書で扱ったトピック)を読み、重要語をUSPOにアップロード提出すること(合計14回分)。
上記以外	60	テキスト復習の達成度(ディクテーション)、授業内での発表(発音)の正確さ(=どれだけ音読練習しているか)を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。

授業外学習

復習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Live Listening	Graeme Todd, Roger Palmer, Makimi Kano	金星堂	978-4-7647-3956-7
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	杉山 真央	
講義コード	1120505	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unit 1 Listen Carefully	初回は、オリエンテーションとして、これからどのように授業をすすめていくかをテキストのunit 1を用いて説明する。
第2回	Unit 2 World Famous	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第3回	Unit 3 A Healthy Diet	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第4回	Unit 4 Heavy Traffic	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第5回	Unit 5 Fighting Fire	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第6回	Unit 6 Enjoying Sports	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第7回	Unit 7 Throwing a Party	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第8回	Unit 8 A Good Salary	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第9回	Unit 9 A New Album	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第10回	Unit 10 Leaving the Company	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第11回	Unit 11 The Train Ride	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第12回	Unit 12 Perfect Recipes	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第13回	Unit 13 The Price of Energy	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第14回	Unit 14 Sending a Message	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第15回	Unit 15 Further Study	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。

担当者から一言

--

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニングと発音の練習活動を通じて、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解するための基礎力を養う。
 本授業では、リスニングによる内容把握とディクテーションを行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。内容理解に必要な語彙の予習、あるいはディクテーション課題を課し、小テストで確認する。また、期間中に2回のレシテーション発表を行う。

到達目標

- (1) 英文を聞いて、その内容を理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) まとまりのある英文を正しい発音で暗唱できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、小テストにより評価する。(30%) 到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課す発表により評価する。(20%)

欠席が4回を超える場合は評価の対象としない。

授業外学習

小テストのための準備をしっかりと行うこと。また、教科書に付属のDVDを利用して、暗唱課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in 30 Seconds	青木 雅幸	南雲堂	978-4-523-17618-3
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unit1: Meijer—Higher Standards, Lower Proce	オリエンテーション、シラバスの説明、授業の進め方、課題について Soundtrack Listening, Transcript Completion
第2回	Unit2: This Calls for Bud Light	小テスト Rhythm in English Soundtrack Listening, Transcript Completion
第3回	Unit3: Anti-Discrimination Campaign	小テスト Sound Reductions1 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第4回	Unit4: McDonald's King of Fast-Food Restaurants	小テスト Sound Reductions 2 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第5回	Unit6: BMW A Car beyond Reason	小テスト Sound Reductions 3 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第6回	レシテーション発表	Transcript (既習Unitの中から1つを選択)を暗唱して発表
第7回	Unit7: Banking for the Filthy Rich	小テスト Intonation Patterns 1 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第8回	Unit8: Learning Languages	小テスト Intonation Patterns 2 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第9回	Unit9: Pepsi Ask for More	小テスト Intonation Patterns 3 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第10回	Unit12: Coca-Cola For Everyone	小テスト Consonant Sounds 1 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第11回	Unit14: Counterfeit Mini Coopers	小テスト Consonant Sounds 2 Soundtrack Listening, Transcript Completion
第12回	レシテーション発表	Transcript (既習Unitの中から1つを選択)を暗唱して発表
第13回	Unit11: Disney Magic Happens	小テスト Common Vowel Sounds Soundtrack Listening, Transcript Completion
第14回	Unit15: Hallmark of a Teacher	小テスト Review Exercises Soundtrack Listening, Transcript Completion
第15回	まとめ	まとめと振り返り
担当者から一言		

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	杉山 真央
講義コード	1120507	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(杉山担当)本授業では、日常会話(電話、道案内など)を扱い、語彙や表現を増やし、正確な発音、イントネーションを身につけ、リスニング力を強化することを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	リスニング試験(ディクテーションを含む)を行う(詳細は授業中に指示する)
レポート課題	10	英字新聞等を読み、重要語をUSPOにアップロード提出すること(合計14回分)。
上記以外	60	テキスト復習の達成度(ディクテーション)、授業内での発表(発音)の正確さ(=どれだけ音読練習しているか)を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。

授業外学習

復習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Listen to this!	James Bean	金星堂	978-4-7919-4579-5
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	杉山 真央
講義コード	1120507	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unit 1 Please leave a message	初回は、オリエンテーションとして、これからどのように授業をすすめていくかをテキストのunit 1 を用いて説明する。
第2回	Unit 2 You need a break!	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第3回	Unit 3 I think we're lost	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第4回	Unit 4 Where did you grow up?	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第5回	Unit 5 It's a goal	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第6回	Unit 6 Sightseeing	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第7回	Unit 7 TV violence	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第8回	Unit 8 I'd like to return this	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第9回	Unit 9 What a great vacation!	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第10回	Unit 10 Can you help me with my essay?	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第11回	Unit 11 What happens to our trash!	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第12回	Unit 12 I feel terrible	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第13回	Unit 13 Future plans	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第14回	Unit 14 I disagree!	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
第15回	Unit 15 Following instructions	表題のトピックについて、語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。
担当者から一言		

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120508	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニングと発音の練習活動を通じて、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解するための基礎力を養う。
 本授業では、リスニングによる内容把握とディクテーションを行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。内容理解に必要な語彙の予習、あるいはディクテーション課題を課し、小テストで確認する。また、期間中に2回のレシテーション発表を行う。

到達目標

- (1) 英文を聞いて、その内容を理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) まとまりのある英文を正しい発音で暗唱できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、小テストにより評価する。(30%) 到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課す発表により評価する。(20%)

欠席が4回を超える場合は評価の対象としない。

授業外学習

小テストのための準備をしっかりと行うこと。また、教科書に付属のDVDを利用して、暗唱課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in 30 Seconds	青木 雅幸	南雲堂	978-4-523-17618-3
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1120515	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English Publications	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120516	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this class, students will be introduced to different topics and problems in society. We will read short passages from textbooks, listen to music or watch videos, and use the internet to learn about different topics every week. Students will discuss and share their ideas about the topics with their classmates. This class will introduce topics from history, sociology, and other disciplines in a challenging way. Students will mainly complete speaking assignments for their final score.

到達目標

Students will be able to speak English with: (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct.
Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Midterm speech - Students will give a speech about a topic and do Q+A. Speeches with better pronunciation and fluency will receive higher scores.
レポート課題	25%	Final speech - Students will give a speech about a topic and do Q+A. Speeches with better pronunciation and fluency will receive higher scores.
上記以外	50%	Speaking homework - Students will record short speeches about class topics.

Please come to class every week. Students who are absent 4 times from this class will not receive credit for this course.

授業外学習

The midterm and final exam for this class will be a speech. Please practice your speech for homework, at least 1 hour per week.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

This class does not have a textbook.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students should bring a dictionary or use the dictionary application on their phone.

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1120517	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English Publications	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120518	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this class, students will be introduced to different topics and problems in society. We will read short passages from textbooks, listen to music or watch videos, and use the internet to learn about different topics every week. Students will discuss and share their ideas about the topics with their classmates. This class will introduce topics from history, sociology, and other disciplines in a challenging way. Students will mainly complete speaking assignments for their final score.

到達目標

Students will be able to speak English with: (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct.
Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Midterm speech - Students will give a speech about a topic and do Q+A. Speeches with better pronunciation and fluency will receive higher scores.
レポート課題	25%	Final speech - Students will give a speech about a topic and do Q+A. Speeches with better pronunciation and fluency will receive higher scores.
上記以外	50%	Speaking homework - Students will record short speeches about class topics.

Please come to class every week. Students who are absent 4 times from this class will not receive credit for this course.

授業外学習

The midterm and final exam for this class will be a speech. Please practice your speech for homework, at least 1 hour per week.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

This class does not have a textbook.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students should bring a dictionary or use the dictionary application on their phone.

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120518	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Introduce class topics, introduce basic topics
第2回	Week 2	Speaking and writing activities about the class topic
第3回	Week 3	Speaking and writing activities about the class topic
第4回	Week 4	Speaking and writing activities about the class topic
第5回	Week 5	Speaking and writing activities about the class topic
第6回	Week 6	Speaking and writing activities about the class topic
第7回	Week 7	Speaking and writing activities about the class topic
第8回	Week 8	Speaking and writing activities about the class topic
第9回	Week 9	Speaking and writing activities about the class topic
第10回	Week 10	Speaking and writing activities about the class topic
第11回	Week 11	Speaking and writing activities about the class topic
第12回	Week 12	Speaking and writing activities about the class topic
第13回	Week 13	Speaking and writing activities about the class topic
第14回	Week 14	Speaking and writing activities about the class topic
第15回	Week 15	Speaking and writing activities about the class topic

担当者から一言

This class will be a challenge for students because many new topics, which students have never studied, will be introduced. I'm very excited to teach this course and to work together with everyone.

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120525	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態を進めます。英語という外国語の学習を通して、さまざまな学問に通じる視野を広げられるようになることが当科目の価値です。

到達目標

意味を踏まえて2段落以上の英文を相手に伝えるように音読できる。
 5文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
 国際問題についての自分の考えを3分間以上英語で発表できる。
 1段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 国際的な難題に関する知識を広げひとつの課題につき1分間以上日本語・英語を問わず説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	音読テスト(テスト期間に実施)20% 到達目標 を評価 聴解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 グループ発表(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの双方の学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120526	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

このクラスでは、物語と詩歌のテキストを読み、英語の精読力（必要に応じて辞書を用い、大意をつかむだけでなく、確信をもって読むことができる力）を高めることを目標とします。自分自身で、あるいは小グループのメンバーと共にテキストを読んで、そこで生まれた疑問点や気づいた点を共有することで、さらには、読者である自分（たち）が、どのようにして意味を作り上げているかを考察しながら、「読む」トレーニングを行います。また、読んだ内容に反応するかたちで英語で書き、口頭で表現することで、英語を使った発信力を向上させます。

到達目標

- (1) 密度の高い英語の文章を、辞書を使って自分で読みとる力をつける
- (2) 英語の構文、スタイル、語彙などについて理解を深める
- (3) グループ活動などに積極的に参加し、自分とクラスメートの読みの共通点と違いを理解する
- (4) 英語を使って、自分が考えたこと・理解したことを伝える力を養う

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)(2)(4)について、期末試験で評価する
レポート課題	30%	到達目標(1)(4)について、ミニ・プロジェクトで評価する
上記以外	40%	到達目標(1)(2)(3)(4)について、ポートフォリオ(=毎週の予習、授業中の活動、振り返りをまとめたもの)で評価する

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、教材を配布します。辞書は初回授業から必ず持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120527	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態を進めます。英語という外国語の学習を通して、さまざまな学問に通じる視野を広げられるようになることが当科目の価値です。

到達目標

意味を踏まえて2段落以上の英文を相手に伝えるように音読できる。
 5文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
 国際問題についての自分の考えを3分間以上英語で発表できる。
 1段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 国際的な難題に関する知識を広げひとつの課題につき1分間以上日本語・英語を問わず説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	音読テスト(テスト期間に実施)20% 到達目標 を評価 聴解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 グループ発表(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの双方の学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120528	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

このクラスでは、物語と詩歌のテキストを読み、英語の精読力（必要に応じて辞書を用い、大意をつかむだけでなく、確信をもって読むことができる力）を高めることを目標とします。自分自身で、あるいは小グループのメンバーと共にテキストを読んで、そこで生まれた疑問点や気づいた点を共有することで、さらには、読者である自分（たち）が、どのようにして意味を作り上げているかを考察しながら、「読む」トレーニングを行います。また、読んだ内容に反応するかたちで英語で書き、口頭で表現することで、英語を使った発信力を向上させます。

到達目標

- (1) 密度の高い英語の文章を、辞書を使って自分で読みとる力をつける
- (2) 英語の構文、スタイル、語彙などについて理解を深める
- (3) グループ活動などに積極的に参加し、自分とクラスメートの読みの共通点と違いを理解する
- (4) 英語を使って、自分が考えたこと・理解したことを伝える力を養う

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)(2)(4)について、期末試験で評価する
レポート課題	30%	到達目標(1)(4)について、ミニ・プロジェクトで評価する
上記以外	40%	到達目標(1)(2)(3)(4)について、ポートフォリオ(=毎週の予習、授業中の活動、振り返りをまとめたもの)で評価する

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、教材を配布します。辞書は初回授業から必ず持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1120535	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	60	Writing assignment (4 topics; 15% each)
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 1 hour per week. Write your original sentences and story.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Readgn Fusion 1	Andrew E. Bennett	南雲堂	9784523176640
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120536	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This class will focus on essay writing and various types of essays. Students will use class time to learn how to write essays, complete preliminary writing, and give feedback to their peers. Homework will mainly consist of writing an essay for peer review.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Midterm: Students will write an essay in class during week 8 on one of several topics. Students will be graded according to the writing rubric.
レポート課題	25	Final presentation: Students will present their final essay to their peers. Students will be graded according to the speaking and writing rubrics. Due weeks 14 and 15.
上記以外	40	Final essay: Students will write one essay on a selection of topics. Students are also free to choose their own topic. Students will be graded according to the writing rubric. Due week 14.

欠席が4回を超える場合は評価の対象としない。
Students who miss 4 classes will not receive a passing grade for this class.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Essays: From Paragraph to Essay	Dorothy E. Zemach, Lisa H. Gulldu	Macmillan	978-0-2304-1592-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1120537	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	60	Writing assignment (4 topics; 15% each)
上記以外		

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Readgn Fusion 1	Andrew E. Bennett	南雲堂	9784523176640
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120538	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher meets with each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read their essay or story aloud and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	50	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each, Writing Objective 3 - 50%
上記以外	25	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 学生はクラスを3回以上欠席すると毎回欠席は採点から3点減らす。Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Skillful Listening & Speaking	Lida Baker & Steven Gershon	Macmillan	978-0-230-42532-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101FRL101							

授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。

到達目標

発音、語順、動詞（現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞）、名詞類（性・数・格）、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（５）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン 1 場面て学ぶドイツ語 (CD付)	佐藤修子/ハイケ・パーベンティン/下田恭子/ゲーザ・オルデハー	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)							担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL101								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の説明、辞書紹介、発音練習（アルファベット） など
第2回	発音練習（１）	表現：挨拶
第3回	発音練習（２）	基数；表現：自己紹介(1)
第4回	現在人称変化	表現：自己紹介(2)、他人を紹介する
第5回	語順	肯定文、疑問文、否定文；sein, haben
第6回	冠詞、名詞の性	会話練習：レストランで飲み物を注文する
第7回	名詞の複数形	文法＋表現
第8回	人称代名詞の格変化	会話練習：３格と４格の練習
第9回	前置詞	会話練習：待ち合わせをする
第10回	話法の助動詞	文法＆表現＋会話練習
第11回	命令形	文法＆表現＋会話練習
第12回	分離動詞	会話練習：予定を尋ねる
第13回	zu-不定詞（１）	文法＆表現
第14回	zu-不定詞（２）	会話練習
第15回	まとめ	課題（模擬試験）＋口述試験

担当者から一言

言語を習得するには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語 B (国際)						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1120542	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101FRL102							

授業概要

ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン1. 場面で学ぶドイツ語 (CD付)	佐藤修子 / ハイケ・パーペンティン / 下田恭子 / ゲーザ・	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120551	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201FRL201							

授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関しては、前回の復習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。

到達目標

zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (国際)						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1120552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201FRL202							

授業概要

ドイツ語 同様、ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では引き続き、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。また文法と語彙の知識に合わせ、より複雑な表現も身につけていくようにする。ドイツ語 同様、今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ある程度複雑な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	橋本 周子
講義コード	1120561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業概要

この授業では、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標に示す(1)(2)については、定期試験(60%)および1課が済むごとに実施する小テスト(20%)によって評価する。
レポート課題		
上記以外	20	(3)(4)については宿題を期限通りに済ませているかの確認(20%)によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	978-4-8086-2056-1
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	橋本 周子
講義コード	1120561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	導入	簡単なあいさつ アルファベ
第2回	(1 課前半)	あいさつをする 自己紹介をする
第3回	(1 課後半)	
第4回	(2 課前半)	家族を紹介する 人物について尋ねる
第5回	(2 課後半)	
第6回	(3 課前半)	ものや場所を描写する (1) 人物を描写する
第7回	(3 課後半)	
第8回	これまでの復習	
第9回	(4 課前半)	好き嫌いについて言う 趣味や時間割について話す
第10回	(4 課後半)	
第11回	(5 課前半)	過去のことについて話す 気持ちを表す
第12回	(5 課後半)	
第13回	(6 課前半)	日常のことや過去について話す 頻度を表す
第14回	(6 課後半)	
第15回	これまでの復習	

担当者から一言

講義名	フランス語 B (国際)						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1120562	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講	
ナンバリング番号	101FRL112							

授業概要

この授業では、フランス語の文法の基礎を学び、自然な日常会話ができるようになることを目標とします。

授業の中では学生がフランス語を話す時間を最大限に作り、楽しくてアクティブなクラスになるよう、ペアで発音と会話を練習します。「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

この授業ではフランス語で書かれている教科書を使用します。生徒には積極的な授業への参加と習慣的に学習に取り組む姿勢を期待します。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	小テスト(語彙/会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	橋本 周子
講義コード	1120571	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201FRL211							

授業概要

前期に引き続き、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標に示す(1)(2)については、定期試験(60%)および1課が済むごとに実施する小テスト(20%)によって評価する。
レポート課題		
上記以外	20	(3)(4)については宿題を期限通りに済ませているかの確認(20%)によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	橋本 周子
講義コード	1120571	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201FRL211							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	(7 課前半)	日常や過去の状況について話す 時の表現 (1)
第2回	(7 課後半)	
第3回	(8 課前半)	未来の計画について話す 評価する
第4回	(8 課後半)	
第5回	(9 課前半)	交通機関について尋ねる 比較する
第6回	(9 課後半)	
第7回	これまでの復習	
第8回	(1 0 課前半)	誘う 道を尋ねる / 示す
第9回	(1 0 課後半)	
第10回	(1 1 課前半)	活動を提案する (2) 誘いを受ける / 断る
第11回	(1 1 課後半)	
第12回	(1 2 課前半)	人物を描写する (2) 印象や気持ちを言う
第13回	(1 2 課後半)	
第14回	これまでの復習	
第15回	応用練習	

担当者から一言

講義名	フランス語 B (国際)						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1120572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講	
ナンバリング番号	201FRL212							

授業概要

この授業はフランス語 Bの続きです。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	小テスト(語彙/会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (国際)						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1120581	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

中国語 Aは中国語の基礎を学びます。先ず徹底して発音の習得に努め、簡単な日常の挨拶語などを学びます。それと同時に基本文型（文法知識）はもちろんのこと、簡単なリスニングを含めた大量の練習問題を用いて解いていきます。

到達目標

- (1) 中国語の発音を習得する。
- (2) 基本文型を学び、簡単なコミュニケーションができるようになる。
- (3) 中国語検定試験の準4級レベルに達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験(発音に関するリスニング問題を含む)を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)						担当教員	呉 凌非
講義コード	1120582	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語――初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)					担当教員	呉 凌非
講義コード	1120582	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義
ナンバリング番号	101FRL122						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 基礎発音(1)	主に四声の勉強をします。
第2回	第2回 基礎発音(2)	主に母音の勉強をします。
第3回	第3回 基礎発音(3)	主に子音の勉強をし、発音全体をまとめます。
第4回	第4回 どうぞよろしく	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第5回	第5回 人称代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第6回	第6回 花がすきですか	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第7回	第7回 指示代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第8回	第8回 だれに手紙を書くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第9回	第9回 存在表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第10回	第10回 本屋は何時に開くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第11回	第11回 数量表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第12回	第12回 風邪を引いたの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第13回	第13回 過去形の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第14回	第14回 映像教材	映像を見ながら、単語や文の聞き取りの勉強をします。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を整理し、まとめます。

担当者から一言

継続は力なり。

講義名	中国語 A (国際)						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1120591	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201FRL221							

授業概要

中国語 A は、中国語 A と同じテキストを使用し、引き続き中国語の基本文型（文法知識）を学びます。その過程で簡単なリスニングなどを含めた大量の練習問題を用いて解きます。

到達目標

- (1) 中国語で自己紹介ができるようになる。
- (2) 簡単な中国語を「聞き取り、応答ができるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標 (1) (2) (3) について、筆記試験 (リスニング問題を含む) を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (国際)							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1120591	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL221								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第18課 彼は背が高い。	(1) 主述述語文 (2) 2つの“了”
第2回	第19課 少し熱があります。	(1) 変化を表す語気助詞“了” (2) 副詞“有点/有些”
第3回	第20課 日記	復習問題を解く。
第4回	第21課 泳げますか？	(1) 助動詞“会”“能”“可以”“想” (2) 概数の表し方
第5回	第22課 何をお買いになりますか？	(1) 助動詞“要”“該” (2) 動詞の重ね型と“一下”
第6回	第23課 見たことはありません。	(1) 動態助詞“过” (2) 可能性を表す“会”と“能”
第7回	第24課 どこで買ったの？	(1) “是～V的”構文 (2) 介詞“離”
第8回	第25課 彼は映画おたくです。	練習問題を解く。
第9回	第26課 小説を読んでいます。	(1) 動作の持続表現 (2) 疑問詞の不定用法
第10回	第27課 つめたすぎだ。	(1) 動態助詞“着” (2) “太……了”
第11回	第28課 持って帰りなさい。	(1) 単純方向補語 (2) 複合方向補語
第12回	第29課 サッカーボールが飛んできた。	存現文について
第13回	第30課 私が代講します。	復習問題を解く。
第14回	第31課 歌いすぎだよ。	様態補語について
第15回	第32課 断水	(1) 結果補語 (2) 名詞の場所化
担当者から一言		

講義名	中国語 B (国際)						担当教員	呉 凌非
講義コード	1120592	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201FRL222							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	小テスト・宿題・レポートで評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101FRL131							

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101FRL131							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	第1課 ハングル、母音
第2回	文字と発音	第2課 1.子音の発音(1)
第3回	文字と発音	第2課 2.合成母音(1)、子音の発音(2)
第4回	文字と発音	第3課 合成母音(2)
第5回	文字と発音	第4課 終声
第6回	文字と発音	第5課 表記、漢字語
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第7回までの学習内容の確認テスト
第9回	第1課	私は～です(指定詞と名詞文)
第10回	第1課	私は～です(会話と練習)
第11回	第2課	それは何ですか(疑問文と答え方)
第12回	第2課	それは何ですか(会話と練習)
第13回	第3課	これは私の家族写真です(ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名)
第14回	第3課	これは私の家族写真です(会話と練習)
第15回	第4課	あの建物の裏にあります。(存在文、位置名詞)
第16回	第4課	あの建物の裏にあります(道案内)
第17回	第5課	街でショッピングをします。(動詞文と語尾、朝・昼・夜)
第18回	第5課	街でショッピングをします。(会話と練習)
第19回	第5課	街でショッピングをします。(一日の行動)
第20回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(ヘヨ体)
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(語尾)
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(会話と練習)
第23回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(店や場所の名前、語尾)
第24回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(会話と練習)
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(固有数詞、尊敬表現、語尾、ㄹ変則用言)
第26回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(料理の注文)
第27回	第9課	今日忙しいですか(語幹、願望、勧誘、推量意思)
第28回	第9課	今日忙しいですか(電話の練習)
第29回	第10課	ご馳走様でした(過去形、逆接、漢数詞)
第30回	第10課	ご馳走様でした(会話と練習)
担当者から一言		

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101FRL132							

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101FRL132							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	第1課 ハングル、母音
第2回	文字と発音	第2課 1.子音の発音(1)
第3回	文字と発音	第2課 2.合成母音(1)、子音の発音(2)
第4回	文字と発音	第3課 合成母音(2)
第5回	文字と発音	第4課 終声
第6回	文字と発音	第5課 表記、漢字語
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第7回までの学習内容の確認テスト
第9回	第1課	私は～です(指定詞と名詞文)
第10回	第1課	私は～です(会話と練習)
第11回	第2課	それは何ですか(疑問文と答え方)
第12回	第2課	それは何ですか(会話と練習)
第13回	第3課	これは私の家族写真です(ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名)
第14回	第3課	これは私の家族写真です(会話と練習)
第15回	第4課	あの建物の裏にあります。(存在文、位置名詞)
第16回	第4課	あの建物の裏にあります(道案内)
第17回	第5課	街でショッピングをします。(動詞文と語尾、朝・昼・夜)
第18回	第5課	街でショッピングをします。(会話と練習)
第19回	第5課	街でショッピングをします。(一日の行動)
第20回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(ヘヨ体)
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(語尾)
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(会話と練習)
第23回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(店や場所の名前、語尾)
第24回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(会話と練習)
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(固有数詞、尊敬表現、語尾、ㄹ変則用言)
第26回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(料理の注文)
第27回	第9課	今日忙しいですか(語幹、願望、勧誘、推量意思)
第28回	第9課	今日忙しいですか(電話の練習)
第29回	第10課	ご馳走様でした(過去形、逆接、漢数詞)
第30回	第10課	ご馳走様でした(会話と練習)

担当者から一言

ここに添付した音声ファイルはダウンロードして、予習復習に使ってください。

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201FRL231							

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本 ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201FRL231							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現)
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(会話と練習)
第3回	第12課	美術教室に通っています。(～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄹ変則用言)
第4回	第12課	美術教室に通っています(会話と練習)
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが(時刻、条件、不可能、許可、禁止)
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが(会話と練習)
第7回	第14課	若い人に人気があります(現在連体形、確認疑問、同時進行、ㄹ変則用言)
第8回	第14課	若い人に人気があります(会話と練習)
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止)
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(会話と練習)
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか(未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調)
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか(会話と練習)
第13回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行くんですよ(計画、予定、義務、否定の経験)
第14回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行くんですよ(会話と練習)
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト
第16回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)
第17回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(会話と練習)
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ(身に着けるもの、へ体、～ている途中で、間接疑問)
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ(会話と練習)
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続)
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(会話と練習)
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(確認、～以来、価値、交通機関)
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(会話と練習)
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(性格・気分、～のとおり、譲歩、使役、～さえすれば)
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(会話と練習)
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(ハンダ体、受身、料理のレシピ)
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(会話と練習)
第28回	第24課	私はもう自信がつかしました。(さまざまな引用文)
第29回	第24課	スピーチをする
第30回	スピーチテスト	
担当者から一言		

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201FRL232							

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせて30回分の計画。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本 ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	201FRL232							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現)
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(会話と練習)
第3回	第12課	美術教室に通っています。(～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄹ変則用言)
第4回	第12課	美術教室に通っています(会話と練習)
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが(時刻、条件、不可能、許可、禁止)
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが(会話と練習)
第7回	第14課	若い人に人気があります(現在連体形、確認疑問、同時進行、ㄹ変則用言)
第8回	第14課	若い人に人気があります(会話と練習)
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止)
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(会話と練習)
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか(未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調)
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか(会話と練習)
第13回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行くんですよ(計画、予定、義務、否定の経験)
第14回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行くんですよ(会話と練習)
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト
第16回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)
第17回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(会話と練習)
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ(身に着けるもの、へ体、～ている途中で、間接疑問)
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ(会話と練習)
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続)
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(会話と練習)
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(確認、～以来、価値、交通機関)
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(会話と練習)
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(性格・気分、～のとおり、譲歩、使役、～さえすれば)
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(会話と練習)
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(ハンダ体、受身、料理のレシピ)
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(会話と練習)
第28回	第24課	私はもう自信がつかしました。(さまざまな引用文)
第29回	第24課	スピーチをする
第30回	スピーチテスト	

担当者から一言

講義名	リーディング(中級) a						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120620	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237GER210							

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。読むことは知ること、書くこと、考えること、話すこと、聴くことと密接に繋がっています。したがって、それらの力すべてに働きかけながら、読む力を養うことを目指します。その中で欠かせないのが自主的に地道に学習を継続させる意気です。そうした意味では、当科目が対象とする受講者は、自学力を鍛えたいという意欲にあふれた「意識高い系」の方です。英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがては国際社会で活躍するに足る視野を広げることができるようになるのが本科目の価値です。

到達目標

授業前に2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙・文法・文構造の知識を養うことができる。
 授業中に本文を1段落の英語でパラフレーズしながら要約し、英文の判読に不可欠な要点把握することができる。
 授業中に本文理解のポイントを1つの英語の図表に提示し、英文の読解に不可欠な論理的思考を養うことができる。
 本文の文脈を把握し、英文の音読に不可欠な表現を学期に2度集中的に高めることができる。
 本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き聞き、英文の熟読に不可欠な建設的批判の術を学期に2度集中的に磨くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	セルフ・スタディ・ガイドの提出(宿題)20% 到達目標 を評価 要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 図解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リーディング(中級) b						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120621	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202							

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。読むことは知ること、書くこと、考えること、話すこと、聴くことと密接に繋がっています。したがって、それらの力すべてに働きかけながら、読む力を養うことを目指します。その中で欠かせないのが自主的に地道に学習を継続させる意気です。そうした意味では、当科目が対象とする受講者は、自学力を鍛えたいという意欲にあふれた「意識高い系」の方です。英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがては国際社会で活躍するに足る視野を広げることができるようになるのが本科目の価値です。

到達目標

授業前に2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙・文法・文構造の知識を養うことができる。
 授業中に本文を1段落の英語でパラフレーズしながら要約し、英文の判読に不可欠な要点把握することができる。
 授業中に本文理解のポイントを1つの英語の図表に提示し、英文の読解に不可欠な論理的思考を養うことができる。
 本文の文脈を把握し、英文の音読に不可欠な表現を学期に2度集中的に高めることができる。
 本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き聞き、英文の熟読に不可欠な建設的批判の術を学期に2度集中的に磨くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	セルフ・スタディ・ガイドの提出(宿題)20% 到達目標 を評価 要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 図解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Integrated English a						担当教員	Klinger Walter
講義コード	1120632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237ENG203							

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad, in particular in the USA. The course focuses on key skills necessary to successfully cope with academic challenges in American colleges. These include: researching a topic, preparing a written and an oral presentation of the topic, expressing opinions and giving reasons, and asking insightful questions about other people's presentations. The instructor guides and assists so that students also improve their written and spoken English language abilities.

到達目標

Students will be better able to:

1. Research and compose an effective 'academic-style' essay that is grammatically correct and logically ordered
2. Prepare a presentation supported by visual and audio media and deliver it with good pronunciation, clarity and fluency.
3. Think critically about topics and themes and express opinions and comments, in essay and presentation styles and also as the audience of other people's presentations.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	35% Written essay on a theme or topic from the movie. *Include references to source material. Include your opinions and comments. About 4 pages for a solo student, 6-7 pages for a pair, 9-10 pages for a group of 3.
レポート課題	35	35% Oral presentation to the class on the same theme as the essay. *Use software like PowerPoint to insert visual and audio material. About 8 minutes for a solo student, 10-14 minutes for a pair, at least 15 minutes for a group of 3.
上記以外	30	30% Written collection of questions and comments about the presentations. *Write 3-4 questions and comments for each presentation and give them to the presenter(s). You don't need to include your name. Copy all your questions and comments onto 2-3 sheets of paper and give them to the teacher. Include your

See the rubric for evaluation details.

授業外学習

Homework: 1 hour/week: Research and write your essay and prepare your presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フォレスト・ガンブ：一期一会	エリック・ロス	東京：角川書店	978-4048540261
2				
3				

その映画台本は図書館から5週間を借りることができる。837.7

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	"Forrest Gump: Themes of Tolerance & Equality."	Walter Klinger	Academic Reports of The University Center for	
2				
3				

Extra Reading: Download the pdf.

前提学力等

履修資格

講義名	Integrated English a						担当教員	Klinger Walter
講義コード	1120632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237ENG203							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Movie-J. Reading.	Watch Forrest Gump (1994) with Japanese subtitles. Borrow the screenplay book from the library and read it. Make notes on topics and themes.
第2回	Movie-J. Reading.	Continue FG with J'ese subtitles. Continue making notes.
第3回	Movie-E. Reading.	Watch the movie again, this time with English subtitles.
第4回	Movie-E. Reading.	Continue the movie. Finish reading the screenplay book.
第5回	Themes. Discussion.	Discuss the themes and topics in the film. Decide on a topic to research. Research and write an essay.
第6回	Essay. Writing.	Continue your research and writing. Show your writing to the teacher for comments and any necessary grammar corrections.
第7回	Essay to Presentation	Adapt your essay for a presentation. Find visual and audio supplements for the presentation.
第8回	Presentation Prep	Show and read your presentation to the teacher for any needed improvements in pronunciation and delivery.
第9回	Presentation Prep	Continue with showing presentations to the teacher.
第10回	Presentations	Presentations. Audience members write questions and comments and give them to the presenters.
第11回	Presentations	Presentations continued.
第12回	Questions	Presenters answer the written questions.
第13回	Vote	Teacher's comments and evaluations. Voting for best presentations.
第14回	Discuss	Discussions of other topics relevant to study abroad as requested by students.
第15回	Discuss	Discussions of other topics requested by students.

担当者から一言

講義名	Integrated English b						担当教員	Klinger Walter
講義コード	1120633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	301ENG303, 237PEN207							

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad, in particular in the USA. The course focuses on key skills necessary to successfully cope with academic challenges in American colleges. These include: researching a topic, preparing a written and an oral presentation of the topic, expressing opinions and giving reasons, and asking insightful questions about other people's presentations. The instructor guides and assists so that students also improve their written and spoken English language abilities.

到達目標

Students will be better able to:

1. Research and compose an effective 'academic-style' essay that is grammatically correct and logically ordered
2. Prepare a presentation supported by visual and audio media and deliver it with good pronunciation, clarity and fluency.
3. Think critically about topics and themes and express opinions and comments, in essay and presentation styles and also as the audience of other people's presentations.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	35% Written essay on a theme or topic from the movie. *Include references to source material. Include your opinions and comments. About 4 pages for a solo student, 6-7 pages for a pair, 9-10 pages for a group of 3.
レポート課題	35	35% Oral presentation to the class on the same theme as the essay. *Use software like PowerPoint to insert visual and audio material. About 8 minutes for a solo student, 10-14 minutes for a pair, at least 15 minutes for a group of 3.
上記以外	30	30% Written collection of questions and comments about the presentations. *Write 3-4 questions and comments for each presentation and give them to the presenter(s). You don't need to include your name. Copy all your questions and comments onto 2-3 sheets of paper and give them to the teacher. Include your

See the rubric for evaluation details.

授業外学習

Homework: 1 hour/week: Research and write your essay and prepare your presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フォレスト・ガンブ：一期一会	エリック・ロス	東京：角川書店	978-4048540261
2				
3				

その映画台本は図書館から5週間を借りることができる。837.7

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	"Forrest Gump: Themes of Tolerance & Equality."	Walter Klinger	Academic Reports of The University Center for	
2				
3				

Extra Reading: Download the pdf.

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング(中級) a						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137ENG104							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解する力を養う。また、さまざまなアイデアを英語で聞くことにより、英語で考える基礎力をつける。本授業では、リスニングによる内容把握とノートを取る練習を行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。内容理解に必要な語彙の予習、あるいはディクテーション課題を課し、小テストで確認する。

到達目標

- (1) まとまりのある英文を聞いて理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) 他の人のアイデアに関心を持って聞き、自分の意見を英語で考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題	20	到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課すレポートにより評価する。
上記以外	30	到達目標に示す(1)(2)の観点について、小テストにより評価する。

欠席が4回を超える場合は評価の対象としない。

授業外学習

小テストのための準備をしっかりと行うこと。また、インターネット等を利用して、英語を聞く機会を多く持ち、レポート課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Communication 2	Jessica Williams	CENGAGE Learning	978-1-305-95545-5
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング(中級) b						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	301ENG301							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解する力を養う。また、さまざまなアイデアを英語で聞くことにより、英語で考える基礎力をつける。本授業では、リスニングによる内容把握とノートを取る練習を行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。内容理解に必要な語彙の予習、あるいはディクテーション課題を課し、小テストで確認する。

到達目標

- (1) まとまりのある英文を聞いて理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) 他の人のアイデアに関心を持って聞き、自分の意見を英語で考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題	20	到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課すレポートにより評価する。
上記以外	30	到達目標に示す(1)(2)の観点について、小テストにより評価する。

欠席が4回を超える場合は評価の対象としない。

授業外学習

小テストのための準備をしっかりと行うこと。また、インターネット等を利用して、英語を聞く機会を多く持ち、レポート課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Communication 2	Jessica Williams	CENGAGE Learning	978-1-305-95545-5
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング (中級) b					担当教員	中谷 博美
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習
ナンバリング番号	301ENG301						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション Unit1: Secret Wishes Part1	シラバスの説明、授業の進め方、課題について Recognize examples/ Use an outline
第2回	Unit1: Secret Wishes Part2	小テスト Listening TED Talks
第3回	Unit2: Changing Climates, Changing Minds Part1	小テスト Listen for details/ Use short phrases
第4回	Unit2: Changing Climates, Changing Minds Part2	小テスト Listening TED Talks
第5回	Unit3: Unexpected Discoveries Part1	小テスト Infer meaning/ Make a time line
第6回	Unit3: Unexpected Discoveries Part2	小テスト Listening TED Talks
第7回	Unit4: The Business of Style Part1	小テスト Make predictions/ Review your notes
第8回	Unit4: The Business of Style Part2	小テスト Listening TED Talks
第9回	Unit5: Engineered by Nature Part1	小テスト Recognize references to key terms/ Take notes using key terms
第10回	Unit5: Engineered by Nature Part2	小テスト Listening TED Talks
第11回	Unit6: Lending a Hand Part1	小テスト Recognize facts and opinions/ Use symbols
第12回	Unit6: Lending a Hand Part2	小テスト Listening TED Talks
第13回	プレゼンテーション	TED Talksを紹介する レポート
第14回	プレゼンテーション	TEDTalksを紹介する レポート
第15回	まとめ	まとめと振り返り
担当者から一言		

講義名	Introduction to Discussion & Debate a						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120653	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237ENG205							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate b						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120654	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Essay Writing						担当教員	John Rippey
講義コード	1120675	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237ENG204							

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing and for exposure to the thoughts of other people about writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length. The course also offers an opportunity for an editing experience; over the course of the semester, class members collaborate in creating the English writing journal of the Department of Intercultural Communications.

到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1120686	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG105							

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

到達目標

- (1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408838
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key, CD	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408845
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1120686	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG105							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test and academic English, confirmation of study strategies.
第2回	Academic Vocabulary	Review of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第7回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第8回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第9回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第10回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第11回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第12回	Reading Exercises (4)	Reading passages and comprehension questions.
第13回	Grammar Exercises (4)	Structure and written expression questions.
第14回	Listening Exercises (4)	Listening passages and comprehension questions.
第15回	Review	Comprehensive review of all coursework.

担当者から一言

This course offers students academic credit for guided, individual TOEFL ITP study done over the summer break. The coursework consists mainly of compulsory and regularly-spaced homework assignments.

講義名	Advanced Academic English I						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120695	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG10							

授業概要

This course will focus on academic English skills (Reading, Writing, Listening & Speaking) and aspects of language knowledge (Grammar & Vocabulary), which are important for the IELTS tests. We will also practise test-taking strategies that can help students gain the highest score possible for study abroad applications.

While this course has an IELTS focus, it is also suitable for anyone who wants to build their academic English skills, and it should help students who plan to take other standardised tests such as TOEFL and TOEIC.

PLEASE NOTE: In order to finish the 15 classes before the January IELTS test days, class 14 and 15 will be brought forward to a Tuesday evening in October and November.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL and IELTS scores for study abroad applications.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Class assessments: 40% Vocabulary quizzes: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English II						担当教員	John Rippey
講義コード	1120705	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237ENG202							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, listening, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL iBT Test	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-324812-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English for Business						担当教員	Fuisting Bjorn
講義コード	1120715	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137LAC101							

授業概要

In this course the emphasis is on communication in business situations. Students will develop their oral and communication skills. They will learn the some key business skills such as introduction, business presentations and discussing graphs.

By the end of this course you should be able to:

- be comfortable meeting business partners
- be able to make bookings and requests
- be able to discuss graphs
- be able to make a short business presentation

到達目標

This is a 3 day Business English course and the focus will be on communication and pair/group work.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Attendance & active participation: 40% Quizzes & homework: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Handouts will be provided.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English in Media						担当教員	中谷 博美 / Klinger Walter
講義コード	1120725	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137LAC102							

授業概要

本授業の目的は、英語 4 技能の総合的な向上にある。英語学・語学教育・異文化理解に関する映画およびTED Talks等の動画を活用して、英語を聞いて内容を理解し、自分の意見をまとめて発表する能力を養う。本授業の前半は、動画視聴と内容把握を行い、内容についてペアで確認し、小グループでディスカッションを行う。後半は、学生による動画のプレゼンテーションを行い、提示されたテーマについてディスカッションを行う。

到達目標

- (1) 英語学・語学教育・異文化理解に関する動画を視聴して、その内容を把握することができる。
- (2) 英語学・語学教育・異文化理解に関する動画を英語で紹介することができる。
- (3) 英語学・語学教育・異文化理解に関して、英語でディスカッションできる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標に示す(1)の観点について、学期中に課すレポートにより評価する。
上記以外	60	到達目標に示す(2)の観点について、学期に行うプレゼンテーションにより評価する。(40%) 到達目標に示す(3)の観点について、授業中の参加態度により評価する。(20%)

欠席が 4 回を超える場合は評価の対象としない。

授業外学習

映画あるいは動画の視聴を予習復習として課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101INF102							

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要					
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定					
第2回	図書検索	文献検索の方法					
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力					
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー					
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性					
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理					
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作					
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式					
第9回	WORDによる文書作成（3）	表					
第10回	WORDによる文書作成（4）	図					
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作					
第12回	Excelによる表計算（2）	書式					
第13回	Excelによる表計算（3）	関数					
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ					
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成					
担当者から一言							

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	基本構成と操作	コンピュータの基本構成と操作
第2回	アカウントの設定	情報ネットワークの理論とアカウントの設定
第3回	システムの操作	情報システムとOSおよびファイル操作
第4回	情報検索	Webブラウザの操作と情報検索とネットワーク上でのセキュリティ
第5回	情報収集	インターネットによる情報収集とウィルスおよびスパイウェア
第6回	文献情報検索	図書情報検索と論文および著作等の情報検索
第7回	情報倫理	電子メールの利用と情報倫理としてのメールでのマナー
第8回	文書作成	文書作成ソフトによるレポート作成の基本の習得
第9回	レポートの基本	レポートと学術論文の概念と論文作成の基本
第10回	情報収集と加工	レポートと学術論文の書式と情報収集と加工の基本
第11回	画像等の処理	レポートと学術論文の書式と画像等の処理の基本
第12回	統計データ処理	レポートと学術論文の書式と統計データ処理の基本
第13回	論文の作成のまとめ	レポートと学術論文の作成のまとめ
第14回	課題の作成	レポート課題の作成
第15回	課題のまとめ	レポート課題と学術論文発表のまとめ
担当者から一言		

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101INF102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（１）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（２）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（１）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（２）	書式
第9回	WORDによる文書作成（３）	表
第10回	WORDによる文書作成（４）	図
第11回	Excelによる表計算（１）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（２）	書式
第13回	Excelによる表計算（３）	関数
第14回	Excelによる表計算（４）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成
担当者から一言		

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式
第9回	WORDによる文書作成（3）	表
第10回	WORDによる文書作成（4）	図
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（2）	書式
第13回	Excelによる表計算（3）	関数
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成
担当者から一言		

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（人文b）							担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理
第2回	フォルダ作成	データ処理とファイル処理
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用
第9回	統計処理の基本	学術論文の概念と統計処理の基本
第10回	統計データ処理	学術論文の書式と統計データ処理の基本
第11回	グラフの処理	学術論文の書式と統計処理とグラフの処理
第12回	回帰分析	学術論文の書式と回帰分析
第13回	データの検定	学術論文の作成とデータの検定
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ
担当者から一言		

講義名	情報科学概論(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	人間探求学（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1150391	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

国際コミュニケーション学科での留学を含めた4年間の学びについて、学生自らがヴィジョンを持ち探求してけるよう支援する。対話型の少人数学習の機会も設定しながら、大学で学んでいくためのアカデミック・スキルズを身につけるための導入教育を行う。
授業計画は昨年度のものなので、一部変更があります。初回の授業で今年度の授業計画を発表します。

到達目標

- (1) 研究の基盤となるような基本的な学問の手続きを習得する。
- (2) 学問に対する主体的なあり方についての自覚をもつ。
- (3) 自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

成績は合否

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	川の未来学						担当教員	村上 修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

本科目は、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる、川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票 市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学 吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	川の未来学							担当教員	村上 修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画	
------	--

回数	タイトル	概要
第1回	あなたにとって川とは？	川との関わりを再認識し、川の未来を考えることの重要性を意識ようになる。
第2回	川の未来像を決める5W1H	国内における川の未来像の決め方について基本を理解する。
第3回	川の未来像を決める最初の一步	河川整備基本方針の内容を理解する。
第4回	川の未来像を決める具体的な内容とは？	河川整備計画の内容を理解する。
第5回	ワークシート1	国内における川の未来像の決め方について理解したことを書いてみる。
第6回	ワークシート1の解説	国内における川の未来像の決め方について理解を深める。
第7回	これだけは変えられない？	川の未来像を決める二重構造 - 河川整備基本方針と河川整備計画との間に存在する問題点を理解する。
第8回	川は「溝」なのか？	河道主義にもとづく川の未来像の決め方について現状と問題点を理解する。
第9回	川の未来像を決める「みんな」とは？	流域委員会の現状と問題点を理解する。
第10回	ワークシート2	川の未来像の決め方における問題点を特定し書いてみる。
第11回	ワークシート2の解説	川の未来像の決め方における問題点について理解を深める。
第12回	国内の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか、新たな方向を示す国内の事例について理解しヒントを得る。
第13回	海外の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか、新たな方向を示す海外の事例について理解しヒントを得る。
第14回	ワークシート3	川の未来像の決め方に対して改善策を案出し書いてみる。
第15回	ワークシート3の解説	川の未来像の決め方に対する改善策について理解を深める。
担当者から一言		

講義名	Model United States of America						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

Model USA is an educational simulation in which students will learn about the United States of America ("USA ") and its unique form of government. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a senator from one of the 50 states that make up the USA. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from the USA.

到達目標

(1) Students will learn about US history and how it impacts the current political environment. (2) Students will learn about the US governmental system and the role political parties play in it. (3) Students will learn about current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their experience.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the US. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Model United Nations						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

Model United Nations is an educational simulation in which students will learn about the United Nations (UN) and its role in the world. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a representative of from one of the many nations that make up the UN. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from around the world.

到達目標

(1) Students will learn about the history of the United Nations and how it impacts our world. (2) Students will learn about parliamentary procedure and how issues are debated at the UN. (3) Students will learn current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their experience.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the world. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	Model United Nations						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course overview
第2回	History of the UN	Introduction to the UN and its history
第3回	Parliamentary Procedure	Introduction to parliamentary procedure and Robert's Rules of Order
第4回	Simulation	Practice simulation
第5回	Seminar I	Group work - Students will be divided into countries and assigned committees
第6回	Seminar II	Lecture on committees. Group work - Students prepare for country presentations
第7回	Seminar III	Group work - Students prepare for country presentations
第8回	Country Presentations I	Students present on their respective countries
第9回	Country Presentations II	Students present on their respective countries
第10回	Seminar IV	Group work - Students prepare for issue presentations and discussion
第11回	Issue I	Students present and discuss issue in mock debate
第12回	Issue II	Students present and discuss issue in mock debate
第13回	Issue III	Students present and discuss issue in mock debate
第14回	Issue IV	Students present and discuss issue in mock debate
第15回	Review	Course review and essay workshop

担当者から一言

Students will be provided with all materials including handouts that are intended for self-study.

講義名	経済学（国際経済を含む）						担当教員	村上 一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	3371LA30							

授業概要

現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念、(2)家計、企業、政府の行動理論と現状、(3)マクロ政策の理論と現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門(第5版)	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2	マクロ経済学(第2版)	伊藤元重	日本評論社	
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）						担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC201							

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のりくらりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうかになってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているんだと理解してもらえるのがこの授業の目標です。

到達目標

- (1) ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
- (2) 公務員試験の法律・政治学関係の問題への基礎的知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	判例法学〔第5版〕	西村健一郎・他	有斐閣	9784641184046
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）						担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	講義内容の概説
第2回	裁判所や警察に行くことになったら	日本の裁判警察制度の概要
第3回	民法 1	さあ、 さんを裁判に訴えてみよう。
第4回	民法2	結婚、離婚、遺産
第5回	刑事法	警察に捕まった大変だ・・・
第6回	憲法 1（国際法 1）	人権（私たちはどんな権利を持っているのか）
第7回	憲法 2	国会、裁判所、内閣
第8回	国際法 2	平和と安全保障 1：国際連盟まで
第9回	国際法 2	平和と安全保障 2：国際連合
第10回	国際法 3（憲法3）	平和と安全保障 3：平和維持活動（PKO）
第11回	国際法 4	貿易
第12回	国際法5	海外投資
第13回	海洋法、日本の抱える領土問題	海に関する国際法。北方領土や竹島のように日本が抱える領土問題
第14回	国際裁判	国際紛争の処理の方法について
第15回	まとめ	全体を概観します。
担当者から一言		

講義名	Discussion & Debate						担当教員	Klinger Walter
講義コード	1400013	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	337ENG304							

授業概要

Outline:
Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates. Students by themselves or with a partner choose 4 discussion or debate topics and write a one-page report on each topic. (5 topics if the class size is small.) The teacher gives advice about grammar and how to make the writing more interesting. Students next read aloud their report to the teacher, who corrects any pronunciation problems. Students next read their reports aloud to other people and have a discussion or a debate. Students write about what the other person/group said, and read it to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Objectives:
Students will be able to talk about and/or debate topics encountered in everyday life, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	Grading: Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 25% x 4. Report Tests. Each Test has 2 parts, 50% for Speaking and 50% for Writing. Each of the 4 Speaking Objectives is worth 25% of the Speaking part.
上記以外		

See the rubric for evaluation details.. 国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your reports.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

hand-outs

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Academic Writing						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC305							

授業概要

Academic writing involves the ability to discuss complex topics following a specified structure. To produce a high quality paper, it is essentially to plan an essay carefully. On this course, we take a 'process' approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correct cite and reference sources.

到達目標

The goals of this course are as follows:

- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Writing assignments (x 4): 70%
上記以外	30	Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化特論 B						担当教員	河 かおる
講義コード	1400058	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337WOC307							

授業概要

朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかみつつ、特に困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。

5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する予定。休講分は学期末に調整する（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。

なお、該当する学生の履修登録が無かった場合は、通常どおりのスケジュールで授業を行う。

到達目標

- (1) 講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組める。
- (2) 朝鮮の近現代史、特に日本とかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができる。
- (3) 講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末レポート 40%
上記以外	60	小レポート 50% 振り返りレポート 10%

授業外学習

ほぼ毎回小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史	田中俊明	昭和堂	
2	植民地朝鮮 その現実と解放への道	趙景達編	東京堂出版社	
3	日本の植民地支配 肯定・賛美論を検証する	水野直樹・藤永壯・駒込武	岩波書店	

授業内容に関する文献リストを授業で配付する。

前提学力等

3・4年生配当科目だが、前期開講のため、留学の関係で所定の学年で履修しにくいので、2年生での履修も認めている。

履修資格

講義名	アジア文化特論C						担当教員	島村 一平
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337WOC301							

授業概要

【現代モンゴル文化論-宗教・ポピュラー音楽・ナショナリズムを中心に】

近年の都市化や急速な経済発展の中で揺れ動く遊牧社会の現状も考察する。実は、モンゴル国は人口の約半分（140万人）が首都ウランバートルに集中している。こうした都市社会の実像を知るために、ロックやHipHopといった現代のポピュラー音楽や、都市に蔓延するシャーマニズムを切り口に現代モンゴル社会の持つ諸問題を考察していく。写真や音楽といった資料を多くつかって、立体的に現代モンゴル像を描き出す。本講義で選んだテーマは、実際に講師が研究してきた国際的なモンゴル研究の最前線部分の一部であることを断っておきたい。

到達目標

- 1) モンゴルに関する文化人類学的研究のうち、ナショナリズム論、宗教研究、ポピュラー音楽研究といった分野に関する世界的な最前線の知見が得られる。
- 2) 現代社会を分析する研究を通じて、外国の社会や文化を理解することの重要性が理解できる。
- 3) 現代モンゴルを通じて日本や世界の現状を知ると同時に、日本の文化や社会を相対的に理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	論述試験を行う。
レポート課題	30	2回、レポートの提出を求める。
上記以外	30	レスポンスカードによる評価を行う。出席点と違って差し支えない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回、論文やレジュメを配る。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

アジア文化論Cを受講していること。

履修資格

講義名	アジア文化特論C						担当教員	島村 一平
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337W0C301							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	現代モンゴル社会へのいざない。都市化するモンゴル社会の概要を見ていく。
第2回	民族と宗教から見たモンゴル史 1	モンゴル民族はロシア・モンゴル、中国に跨る「多国家民族」である。唯一の独立国である「モンゴル国」は、多民族国家でもある。この回では、民族問題と宗教のかかわりを歴史から紐解いていく。
第3回	民族と宗教から見たモンゴルの歴史 2	前回のつづき。社会主義時代も密かに実践された宗教、そしてエスニックなコンフリクト。今まで日本であまり紹介されてこなかった、もう一つのモンゴルの姿をみつめる。
第4回	モンゴルのシャーマニズム 1	モンゴル文化における最も古い宗教は、シャーマニズムである。モンゴルのシャーマニズムの概要、特徴などを論じる。
第5回	モンゴルのシャーマニズム 2 森の呪い ダルハドのシャーマン	狩猟採集文化が色濃く残るモンゴル北部には、ダルハドと呼ばれる人々がいる。彼らが伝統的に実践してきたシャーマニズムは、遊牧民に対する「森の呪い」ともいえるものだった。講師のフィール
第6回	モンゴルのシャーマニズム 3 増殖するシャーマン：モンゴル・	ブリヤート人は、ロシア・モンゴル・中国に跨って暮らすモンゴル系のエスニック集団である。90年
第7回	モンゴルのシャーマニズム 4 感染するシャーマン：都市と社会	ブリヤート人に始まったシャーマンの増殖現象は、モンゴル全国に広まり、2010年頃にはモンゴル国人口の1%近くがシャーマンとなるにいたった。人はなぜシャーマンとなるのか。都市化、社会不
第8回	モンゴル仏教 1 モンゴルの化身ラマと呪術	チベット・モンゴル仏教には化身ラマ（活仏、転生ラマ）と呼ばれる生まれ変わる僧侶がいる。こ
第9回	モンゴル仏教とナショナリズム	そもそも宗教は国家に帰属するものではないことは、カトリックなどを見れば明白である。多くのモンゴル人が信仰するチベット仏教ゲルク派のトップは、ダライ・ラマである。チベットとモンゴルに
第10回	モンゴルのポピュラー音楽 1 ポスト社会主義の世界	ロック、HipHop、アイドル。モンゴルの若者たちも日本同様にさまざまなポピュラー音楽を楽しむ。
第11回	モンゴルのポピュラー音楽 2 ヒップホップ	今をざわめくモンゴル・ヒップホップとその厳しくも驚くべき社会・文化的背景を音楽を聴きながら
第12回	モンゴルのポピュラー音楽 3 国境を超えるヒップホップ	ロシア、モンゴル国、中国内モンゴル自治区。国境によって隔たれたモンゴル系民族が織りなすヒップホップによる共鳴と不協和音。ヒップホップはモンゴルのナショナリズムを考える鏡であることを
第13回	チンギスハーンは誰の英雄なのか：社会主義がつくった英雄 1	モンゴル国では、チンギスハーンは忘れられていた？！社会主義時代によるチンギス言説を分析することで、社会主義がナショナリズムを構築するというパ
第14回	チンギスハーンは誰の英雄なのか：国際比較を通じて 2	世界史上最大の征服者、チンギスハーン。日本では肯定的に描かれることが多いが、欧米では野蛮で残虐な人物の代名詞である。一方、中国では「中国人」として彼を認識している。チンギスを巡る
第15回	まとめ	全体のまとめとして、世界の内陸アジア・モンゴル研究の現状を語る。また講義で紹介したような研究を英語で発表することで、どのような世界とつながってきたのか、講師の経験から、文化人類学的

担当者から一言

音楽を聴いたり、映像を見たりすることで、多角的に現代モンゴル文化をとらえていきます。おそらく日本では、本学でしか受講できないモンゴルのユースカルチャー（若者文化）に関する理解も深まりますよ。

講義名	アジア文化論 A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC20							

授業概要

農村と都市が半々を占めるようになったといわれている現代中国社会の激変の原動力は何か。またその原動力の裏にはどんな仕組みが存在するのであろうか。本講義では、現代中国語が抱える様々な問題を総合的に取り上げることとするが、中国本土を知る視点と周辺少数民族地域や内陸地域を知る視点という二つの視点を柱に展開して行きたい。

到達目標

本講義は、「本土」と「周辺」という二つに視点を持ち合わせながら現代中国が抱える様々な問題を理解できるよう目指したい。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に参加すること
レポート課題	30	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席とレスポンスカードによる積極的なやり取りを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論 A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC20							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	本講義で取り扱う問題意識について紹介する。
第2回	東アジアにおける「境界線」	万里の長城と柳条辺牆を挟んだ中国大陸の境界について講義する。
第3回	中国文明と農耕	中国における文明の起源と農耕との関係について講義する。
第4回	砂漠化問題と乳製品市場	中国大陸における砂漠化問題と巨大な乳製品市場との関係について
第5回	「一帯一路」構想	中国が打ち出した「一帯一路」構想について講義する。
第6回	中国のエネルギー問題	中国の経済発展とエネルギー問題
第7回	ノモンハン戦争	中国とモンゴル、ロシア三ヶ国の国境地帯で起きた
第8回	中国における人口問題	人口大国中国を歴史的に考察する。
第9回	現代中国における人口問題	現代中国における人口問題の構造を講義する。
第10回	中国農村の貧困問題	中国社会における農村の位置づけを講義する。
第11回	現代のシルクロード（１）	中国を横断するシルクロードの現代の在り方を講義する。
第12回	現代のシルクロード（２）	中国を横断するシルクロードの現代の在り方を講義する。
第13回	中国における戸籍制度（１）	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義する。
第14回	中国における戸籍制度（２）	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義する。
第15回	まとめ	講義をまとめ
担当者から一言		

講義名	アジア文化論 B						担当教員	河 かおる
講義コード	1400062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC207							

授業概要

この授業では、隣国「朝鮮」（現在朝鮮半島にある二つの国家およびそれ以前も含む）について、次のような手順で理解を深め、考察していきます。
 前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。
 後半は、韓国・朝鮮に関するトピックをいくつかとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループ（受講人数が少なければ個人）で調べ、最終的にプレゼンテーションをします。

到達目標

- (1) 朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。
- (2) 韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。
- (3) 韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	
上記以外	70	小レポート 30% プレゼンテーション 30% 振り返りレポート 10%

授業外学習

小レポート課題

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	アジア文化論C						担当教員	島村 一平
講義コード	1400063	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC208							

授業概要

【遊牧文化論】

遊牧文化を基層文化とするモンゴル。顔は似ていてもその文化や社会は、農耕社会を基層文化とする日本とは全く異なる。本講義では、現代モンゴルの人々の暮らしや文化、社会などを紹介することで、現代日本に住む我々の文化や暮らしのあり方と比較考察していく。異文化という鏡を通して自文化を知るという視点を養うことを目的としたい。

到達目標

- (1) 遊牧という文化や現代モンゴル社会に関する基礎的な知識がみにつく。
- (2) モンゴル文化を見つめることで日本の文化を相対化して見つめなおすことができる。
- (3) 現代モンゴル社会が抱える諸問題に対して、世界情勢と関連付けながら、批判的に検討する能力が身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式の試験を課す。以下のような基準で採点する。 回答が論理的であるか。
レポート課題		
上記以外		質問は1回につき、1点を加算するものとします。

授業外学習

講義のあとで、レジュメのみならず、教科書の関連部分や参考文献は、各自、図書館で探した上で読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代モンゴルを知るための50章	小長谷有紀・前川愛	明石書店	9784750340432
2	モンゴルの歴史 遊牧民の誕生からモンゴル国まで	宮脇淳子	刀水書房	9784887082441
3	大学生が見た素顔のモンゴル	島村一平	サンライズ出版	9784883256327

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	増殖するシャーマン モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ	島村一平	春風社	9784861102998
2	草原と鉱石 モンゴル・チベットにおける資源開発と環境問題	棚瀬慈郎・島村一平	明石書店	9784750341682
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

世界史に関する基礎知識があることが望ましい

履修資格

講義名	アジア文化論D						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337MUS301							

授業概要

インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。

到達目標

- (1) 仏教の基本的な概念と考え方についての知識。
- (2) 仏教の歴史的な展開に関する知識。
- (3) 内陸アジアにおいて、仏教が果たしてきた役割に関する知識。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	講義内容について十分な理解を得ているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論D						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337MUS301							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	インド社会の特徴	インドの身分制度について
第2回	インド社会の特徴	インドの身分制度と結婚、差別について。
第3回	バラモン教	仏教以前のインド思想史
第4回	仏教の誕生	ダンマパダとスッタニパータ：初期経典について
第5回	初期仏教から大乘仏教へ	インドの石窟寺院について
第6回	中観思想	大乘仏教の基本概念と中観思想
第7回	唯識・密教	唯識思想、本覚思想、密教の基本的考え方
第8回	チベットへの仏教伝来	吐蕃王国による仏教の国教化
第9回	仏教教団の成立	四大宗派の成立
第10回	ゲルク派の隆盛	ツォンカパによる仏教改革とダライラマ政権の誕生
第11回	帝国主義とチベット（1）	チベット近代史
第12回	帝国主義とチベット（2）	チベット近代史
第13回	中央アジアにおけるチベット仏教（1）	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開
第14回	中央アジアにおけるチベット仏教（2）	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開
第15回	中央アジアにおけるチベット仏教（3）	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開
担当者から一言		

講義名	移民社会論B							担当教員	石川 真作
講義コード	1400073	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

現在、世界で2億人近い人々が国境を超えて移動する「移民」となっている。グローバル化の進行により、世界人口の流動化はさらに加速すると考えられる。それにともない、一定の「地域」といわゆる「民族」、そしてその「文化」を結びつける考え方を基礎とした国民国家の制度的枠組みでは、これからの世界のあり方を捉えきれなくなってきた。本講義では、移民の発生メカニズムや社会文化的状況などについて、日本やヨーロッパの事例から多角的に考察する。

到達目標

- (1) 移民という現象を通して、国民国家システムの流動化とグローバル化する世界の変動要因を理解する。
- (2) 多様性を織り込んだ新しい社会のあり方について主体的に考察する視点を養う。
- (3) 今後の多文化共生のあり方について知見を持つ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	授業時のディスカッション、コメントシート等による総合的評価

授業外学習

新聞やニュースで移民、難民関連の報道をチェックして現状を知るよう努める。報道や授業で扱った話題について図書館などで資料を探して理解を深める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	移民社会論 C						担当教員	河 かおる / Borjigin Burensain / 根川 幸男
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137MUS201							

授業概要

日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をめきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満州、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどについて、概要とともに、いくつかの地域を取り上げて具体的に学ぶ。

到達目標

- (1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。
- (2)授業で扱う具体的な地域への移民について、その特徴を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	期末プレゼンテーション 30% 期末レポート 30%
上記以外	40	小レポートなど 30% 振り返りレポート 10%

授業外学習

課題レポート

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	海を渡った日本人	岡部牧夫	山川出版社	978-4634545601
2				
3				

講義内容に関連する文献リストを授業で配付する

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	移民社会論 C						担当教員	河 かおる / Borjigin Burensain / 根川 幸男
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137MUS201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	日本人の海外移民について
第2回	近代日本人移民のはじまり	ハワイ移民
第3回	からゆきさん	
第4回	植民地への移民	朝鮮(1)
第5回	植民地への移民	朝鮮(2)
第6回	アメリカ・メキシコ移民の発展と排日	
第7回	滋賀県からカナダへの移民(1)	映画「バンクーバーの朝日」上映
第8回	滋賀県からカナダへの移民(2)	
第9回	南米移民(1)	
第10回	南米移民(2)	
第11回	満州移民(1)	
第12回	満州移民(2)	
第13回	満州移民の引揚と戦後	
第14回	朝鮮移民の引揚と戦後	
第15回	戦後移民と日系社会の発展	
第16回	期末プレゼンテーション(1)	
第17回	期末プレゼンテーション(2)	
担当者から一言		

講義名	English Lecture A						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400091	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC203							

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the 'systems' and 'skills' that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture B						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400092	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC204							

授業概要

On this course we will explore the past, present and future of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 30%
レポート課題		
上記以外	65	Participation: 30% Mid-term assignment: 10% Weekly quizzes: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture C						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400093	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC20							

授業概要

This is not an English course but a history course conducted in English. The purpose of this course on immigrants to the United States of America is to broaden viewpoints in order to understand problems in American society. In the exploration of experiences of immigrants to the U.S., you will develop knowledge about their background history as well as basic academic skills such as note taking, analysis, group work, discussion, and reading. The value of the course is this: it allows you to link the history with the present situation and to find out the relevance to the current issues of the U.S. and other parts of the world including Japan. To enhance mutual learning, you are required to positively participate in pair and group activities. This will be a great learning opportunity especially for those who are planning to study abroad in the U.S. or who has completed studying there.

到達目標

- (1) To understand the key term of each lecture and illustrate it in English for 3 minutes or more
- (2) To carefully listen to each lecture and take notes on the main point in 1 English paragraph or more
- (3) To examine key points of each lecture and describe your finding in English for 3 minutes or more
- (4) To critically explore each lecture and express your own opinion in 1 English paragraph or more
- (5) To complete 12 academic reading assignments and summarize each of them in English

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Individual Oral Examination (conducted in Week 15) 20% Evaluation of Goal #1 (2) Definition Quiz (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #2 (3) Group Oral Presentation (conducted in Week 14) 20% Evaluation of Goal #3

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have an academic reading assignment which helps you understand the lecture. You are required to study by yourself with an online video (YouTube) clip in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture D						担当教員	小熊 猛
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC302							

授業概要

This series of lectures aims to overview some basic notions of Cognitive Linguistics and to provide opportunities to realize that linguistic meaning is identified with conceptualization.

到達目標

- (1) To appreciate and enjoy intellectual thinking
- (2) To foster objective observation as well as subjective insight

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Final report:50% ((2)50%)
レポート課題		
上記以外	50	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) Tests and reports:30% ((2)30%)

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture E						担当教員	John Rippey
講義コード	1400095	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC30							

授業概要

The title of this course is "Loving Nature." The course introduces ideas and actual practices for living in a more environmentally sustainable manner. Course materials introduce traditional and contemporary approaches to environmentally friendly lifestyles, incorporating a cross-cultural perspective. Students become more familiar with attitudes and practices toward plants, animals, and natural environments in Japan, the United States, as well as other countries and cultures. As part of the coursework, students also innovate novel lifestyle approaches of their own. The course is centered on the question of how to live ethical, happy, and fulfilling lives in the accelerating environmental crisis.

到達目標

- (1) Students gain broader and deeper knowledge of the range of traditional and contemporary environmental practices and of how these can be adopted into their own lifestyles.
- (2) Students become more familiar with environmentally informed writing in various genres.
- (3) Students become more grounded in environmental ethics generally, in general, as well as more conscious of their individual codes of environmental ethics.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	Achievement of learning goal (3) is measured by quality of a final research project (describing firsthand interaction with nature) report.
上記以外	70%	Achievement of learning goal (1) is measured by quality of a midterm paper on a sustainable lifestyle project (30%). Achievement of learning goal (2) is measured by quality of weekly in-class response papers on reading

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture F						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400096	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	437LAC308							

授業概要

This is an introductory course of Conflict Analysis for Peacebuilding. The two main purpose of this course are: to analyze how conflict breaks out and to develop peace communication skills of building trustful relationships. You will pursue these objectives through specific case study on the genocide in Rwanda in 1994. At the same time, you will increase knowledge about theoretical frameworks of conflict transformation. The value of the course is this: by integrating theory and practice, the course will help you to examine root causes and issues of conflict and to learn effective communication techniques for building peace such as dialogue. This is a regular course conducted in English in line with global standards. Thus, the target of this course is highly motivated participants. To enhance mutual learning, you are required to actively engage in pair and group activities.

到達目標

- (1) To understand key terminologies and define each of them in 1 paragraph
- (2) To peruse 1 article and summarize main points of the reading
- (3) to examine issues of conflict and explain your analysis in a group discussion for 3 minutes
- (4) to analyze causes of conflict and illustrate your examination with 1 conflict map
- (5) to conduct peacebuilding project and present it for 5 minutes

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Submission of Self-Study Guide (Week 4-13) 20% Evaluation of Goal #1 Social Testing (Week 2-3) 20% Evaluation of Goal #2 Fishbowl (Week 4-13) 20% Evaluation of Goal #3

If you are late for a class and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Conflict Transformation	John Lederach	Good Books	1-56148-390-7; 978-1-56148-390-7
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture G						担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400097	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337ENG303							

授業概要

In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes.

到達目標

To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The presentation held at the end of the semester will account for 60% of the grade.
上記以外		

Students who abstain from class more than three time will not be considered for evaluation.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Cradle to cradle	William McDonough and Michael Braungart	North Point Press, New York	978-0-86547-587-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sustainable by Design: explorations in theory and practise	Stuart Walker	Earthscan, United Kingdom	9-781-84407-305-4
2	An inconvenient truth	Al Gore	Rodale, New York	978-1-59486-567-1
3				

前提学力等

Ability to read, write and speak English

履修資格

講義名	英語学概論						担当教員	小熊 猛
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337ENG302							

授業概要

英語学の低位領域のうち、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論の5領域を中心に基礎的な知識を身につける。加えて英語の歴史の変遷（古英語、中英語、近代英語）について音韻、形態、統語の観点から概観する。英語表現の構造理解に必要な基本的な知識を身につけ、英文を客観的に考察する力を身につけることを目指す。これに加え、英語で書かれた教科書を使用することで、論理的議論の展開を理解できる英文読解力も併せて養うことを目指す。

到達目標

- (1) 形態論、統語論、意味論、語用論の4領域の区別とそれぞれの領域の基本的知識を理解する。
- (2) 構成素と言語の階層性を踏まえ構造的な多義性の生じるメカニズムを理解する。
- (3) 概念的意味と連想的意味の区別を理解し、分析的にことばの意味理解ができる。
- (4) メタファーおよびメトニミーという概念を踏まえて多義性および意味のネットワークを理解する。
- (5) 間接発話行為および会話の協調原則などを踏まえた意味理解ができる。
- (6) 英文による論理的議論が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	それぞれ到達目標については以下のように配分で評価する。 (1)10%, (2),10%, (3)10%, (4)10%, (5),10%
レポート課題		
上記以外	50	毎回の講義箇所の予習（専門的語彙の確認および概要のまとめ）(30%)および確認小テスト課題(20%)を評価する。到達目標については以下のような配分で評価する。 (1)5%, (2),5%, (3)5%, (4)5%, (5)5%, (6)20%

4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントするものとする。

授業外学習

英語学という専門的科目を英文で書かれたテキストを利用して学習する科目である。理論的、抽象的レベルでの思考が求められるため、入念な予習は不可欠である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	First Steps in English Linguistics 2nd Edition 英語言語学の第一歩	影山太郎ほか（編）	くろしお出版	978-487424-277-3 C3082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

専門的内容を英語で書かれた教科書で学習するため、英文の基本構造を十分理解している必要がある。

履修資格

講義名	英語学概論							担当教員	小熊 猛
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG302								

授業計画									
回数	タイトル			概要					
第1回	Ch.9: Phonetics and Phonology 音声学・音韻論			授業オリエンテーション ・国際共通語としての英語とは					
第2回	Ch.3: Morphology 形態論			How Words Are Made: Morphology Dividing Words in to Parts 形態素					
第3回	Ch.3: Morphology 形態論			How Words Are Made: Morphology Derivation 派生					
第4回	Ch.4: Semantics 1 意味論			How Words Mean 語彙の意味					
第5回	Ch.4: Semantics 1 意味論			How Words Mean 語彙の意味					
第6回	Ch.4: Semantics 1 意味論			How Words Mean 語彙の意味					
第7回	Ch.5: Syntax 1 統語論			How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム					
第8回	Ch.5: Syntax 1 統語論			How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム					
第9回	Ch.5: Syntax 1 統語論			How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム					
第10回	Ch.7: Semantics 2 意味論			How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味					
第11回	Ch.7: Semantics 2 意味論			How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味					
第12回	Ch.7: Semantics 2 意味論			How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味					
第13回	Ch.2: How English has changed 英語史			How English has changed over the Century 英語の歴史の変遷(古英語・中英語・近代英語)					
第14回	Ch.8: Pragmatics 語用論			How to Communicate with Other people: Pragmatics 言語の使用・コミュニケーション					
第15回	Ch.8: Pragmatics 語用論			How to Communicate with Other people: Pragmatics 言語の使用・コミュニケーション					
担当者から一言									
高等学校までに学習した学校文法の延長ないしは、より高度な語法学習といった運用能力を高める内容ではなく、英語という言葉をどのように分析するかという「ことばの研究」を概観する科目です。									

講義名	英語文献講読 A						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371LA304							

授業概要

Colin Woodardの “ American Nations ” を読むことによって、英文の読解力を高めてゆく。またアメリカ社会の成立のプロセスや、その特徴について学ぶ。

到達目標

- (1) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳すことができるようになる。
(2) アメリカ社会の成り立ちと特徴についての理解を深めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	American Nations	Colin Woodard	Penguin Books	978-0-14-312202-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読 A						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371LA304							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	当該部分の読解と解説
第2回	Introduction	当該部分の読解と解説
第3回	Introduction	当該部分の読解と解説
第4回	Introduction	当該部分の読解と解説
第5回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第6回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第7回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第8回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第9回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第10回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第11回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第12回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第13回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第14回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
第15回	Origins 1590 - 1769	当該部分の読解と解説
担当者から一言		

講義名	英語文献講読 B						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371LA305							

授業概要

Colin Woodardの “ American Nations ” を読むことによって、英文の読解力を高めてゆく。またアメリカ社会の成立のプロセスや、その特徴について学ぶ。

到達目標

- (1) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳すことができるようになる。
(2) アメリカ社会の成り立ちと特徴についての理解を深めることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	American Nations	Colin Woodard	Penguin Books	978-0-14-312202-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読B						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371LA305							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第2回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第3回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第4回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第5回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第6回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第7回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第8回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第9回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第10回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第11回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第12回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第13回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第14回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
第15回	Unlikely Allies: 1770 to 1815	当該部分の購読と解説
担当者から一言		

講義名	英米文学概論						担当教員	石井 昌子
講義コード	1400107	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC202							

授業概要

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。英語と英語社会の背後にある思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。毎回の授業では、英米の代表的な文学作品を取り上げ、時代背景の中で作家・作品を位置づけ、映画化された作品も用いながら理解を深める。授業では原典からの抜粋を用いる。受講生は翻訳でもかまわないので、取り上げる作品は読むことが望ましい。

到達目標

- (1) 英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。
- (2) 英語と英語社会の背後にある思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。
- (3) 英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	30	授業で取り上げた文学作品を2点選び、そのあらすじ、感想文、作者紹介、時代背景について記したものを提出すること。その他、映画やドラマについての感想文は、内容と提出数に応じて加点する。
上記以外	70	リスポンスペーパーの内容（授業に対する理解度と自分の考えが表現できているかを評価）

特別な理由がある場合を除いて、4回以上欠席したものは評価の対象としない（欠席が4回に達した時点で評価を受ける資格を失う）。

授業外学習

時代の雰囲気や背景を理解する、つまり、異文化理解のためにも、できる限り原典を原書あるいは翻訳で読み、映画化・ドラマ化されたものもなるべく観ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なテキストはすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

特になし。英語そのものについての説明はすべてこちらが行います。英語を訳させたり音読させたりはしません。

履修資格

講義名	英米文学講読						担当教員	山本 薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC307							

授業概要

この授業では、2017年にノーベル文学賞を受賞した英国の作家カズオ・イシグロの短編を読み、「日本的なもの」「英国的なもの」、日本と英国の文化的相似点・相違点等イシグロの作品から読み取れるさまざまな問題について議論し、理解を深める。

*目標

正確な英文読解力・把握力をつける

英国・英国文化はもちろんのこと、日本・日本文化についても理解を深める

問題意識を持って文章を読み、問題提起し、議論を形成する力を養う

必要や要望に応じてイシグロ以外の小説家の作品も取り入れることがあります。

到達目標

- (1) 英文を正確に読みこなす。
- (2) 作品の歴史的背景を理解する。
- (3) 上記の読みと理解に基き、自分の考えをまとめ、発表する。
- (4) 議論を通じて、作品そのものに対する理解及び、異文化理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	各自の読みと授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 (1) どれだけ正確に作品が読めているか (2) テーマ設定がどれだけユニークか
上記以外	60	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で評価を受ける資格を失う)。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

日本語・英語を問わず、いろいろな素材を多読すること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストはすべてプリント配布。その他必要なテキストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

中級以上の英文読解力と世界史の知識がある程度は必要ですが、それよりも海外の小説を読みたいという意欲があることが大事です。英文読解力と世界史の知識について不安がある場合は事前に問い合わせてください。

履修資格

講義名	英米文学講読						担当教員	山本 薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC307							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	作者カズオ・イシグロの作品と人生、短編作品の歴史的背景を概観し、毎回の授業のすすめかた、レポート提出に関して説明する。
第2回	短編 'A Family Supper' 読解	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第3回	短編 'A Family Supper' 読解	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第4回	短編 'A Family Supper'	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第5回	短編 'A Village After Dark'	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第6回	短編 'A Village After Dark'	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第7回	短編 'A Village After Dark'	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第8回	短編 'A Village After Dark'	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第9回	短編 'A Village After Dark'	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第10回	短編 'A Village After Dark'	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第11回	短編 'A Village After Dark'	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第12回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第13回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第14回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第15回	まとめ	これまでの議論の内容をもとに、エッセイを作成する際のポイントを解説。

担当者から一言

--

講義名	欧米文化特論 A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1400221	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337WOC302							

授業概要

欧米文化論Aが現代のドイツ文化を広く取り扱うのに対して、欧米文化特論Aはドイツ語の歴史の変遷をたどることでドイツ文化についての理解を深めることをねらいとしている。主としてドイツ語史、ドイツ文化史、ドイツ文学史、メディア学の観点からドイツの言語・文化・社会がどのように変化してきたかを概観し、技術の進歩や社会の変化が言語にどのような影響を与えてきたのかについて考える。また文化の担い手が交代してきたことや文化の中心地が移動したことがドイツ語の標準語の成立に果たした役割についても言及する。

到達目標

ドイツ語の歴史についての素養を身につける。また習得した知識に基づいて情報収集を行い、自分の考えをより正確にまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

最初の授業で参考文献リストを配布するので、興味のあるテーマを見つけて、それらの関連図書を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総論ドイツ語の歴史	ヴィルヘルム・シュミット著 / 西本美彦 他訳	朝日出版社	978-4255002699
2	ドイツ文学案内	手塚富雄 / 神品芳夫	岩波書店	978-4003500033
3	物語ドイツの歴史	阿部謹也	中央公論社	978-4121014207

参考図書リストは授業中に配布する。

前提学力等

ドイツ語やドイツ史に関する基礎知識があり、それらの分野に対する関心があることが望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化特論 B						担当教員	橋本 周子
講義コード	1400222	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337WOC303							

授業概要

「ことばと食」をテーマに、近代フランスの美食文化について講義を行う。今日、フランスがその高度な食文化を誇る背景として、食を様々な角度から語る「ことば」の豊富さが不可欠の要素として挙げられる。授業では食をめぐる様々な言説の歴史をたどり、歴史的知識を学ぶとともに、食について考えるための視点を養う。また授業で提示された主題の中から、自らの関心に最も合うものを見出し、それに関して自ら調べ、考えることも求める。

到達目標

- (1) フランス近代の美食文化の歴史について知識を得る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)(2)(3)すべてについて、授業期間内に実施するレポート課題(班別を含めておよそ5回ほど)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。内容によっては、レポート執筆をふまえた発表を求めることがある。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント配布。参考書：橋本周子『美食家の誕生』（名古屋大学出版会）；八木尚子『フランス料理と批評の歴史』（中央公論新社）；

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献などは授業内で適宜、指示する。また必要なものはプリントにして配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化特論C						担当教員	山本 薫
講義コード	1400223	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337WOC304							

授業概要

この授業では、ヨーロッパ思想史の大家マーティン・ジェイの視覚論をテキストにし、科学革命とルネッサンスによって始まる近代において西欧文化の中で支配的であった視覚及び「視覚的なもの」について議論を通して理解を深める。西欧近代において、視覚が聴覚、触覚、味覚、嗅覚という人間の感覚の中でいかに中心化されてきたかを学び、現代日本に生きる我々自身もいかに視覚中心的な考えに影響されているかについて考える。授業ではジェイの英語論文の日本語訳を用いるが、必要に応じて英語の原典を参照する。

到達目標

- (1) 卒論の準備として、海外の評論を正確に読みこなす。
- (2) 西欧の思想・文化を理解する。
- (3) 上記の読みと理解に基づき、自分の考えをまとめ、発表する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 (1) どれだけ正確に評論が読めているか
上記以外	60	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストはすべてプリント配布。その他必要なテキストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

中級以上の英文読解力と世界史の知識がある程度は必要ですが、実際に授業中に読むのは日本語訳です。なによりも海外の評論を読みたいという意欲があることが大事です。英文読解力と世界史の知識について不安がある場合は事前に問い合わせてください。

履修資格

講義名	欧米文化特論C							担当教員	山本 薫
講義コード	1400223	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC304								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	思想史を概略し、議論をする上で必要なキーワードについて説明する。
第2回	ハル・フォスター編『視覚論』	日本人訳者による本書のあとがきを用いて、内容をあらかじめ概観する。発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第3回	ハル・フォスター編『視覚論』	日本人訳者による本書のあとがきを用いて、内容をあらかじめ概観する。発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第4回	おさらい	本文を読む前に、ここまでの授業で学んだ事柄をおさらいする。受講者の質問を受け付ける。
第5回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第6回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第7回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第8回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第9回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第10回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第11回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第12回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第13回	期末レポートのためのおさらい	ここまでの授業で学んだ事柄をおさらいする。受講者の質問を受け付ける。
第14回	期末レポートのためのおさらい	各自のレポートのテーマを発表し、質疑応答を行う。
第15回	まとめ	これまでの議論の内容をもとに、エッセイを作成する際のポイントを解説。
担当者から一言		

講義名	欧米文化特論D						担当教員	John Rippey
講義コード	1400224	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137MNG150							

授業概要

This course surveys the history of the United States by exploring the historical experiences of four social groups: Native Americans, African Americans, laborers, and women. The course takes a cultural or people's history approach to the topic, focusing on the viewpoints of ordinary people and considering issues of ethnicity, race, class, and gender in American society. Students discuss readings and draw connections between historical phenomenon and contemporary events. Students write a research paper about a specific topic in American history of their own choice.

到達目標

- (1) Students broaden and deepen their knowledge and understanding of the history of the United States in general terms, and of the historical experiences of four groups of Americans (Native Americans, African Americans, working class Americans, and women) in particular.
(2) Students develop their ability to research, analyze, and interpret social and cultural issues for both historical significance and contemporary relevance, and to communicate their interpretations to others.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly, in-class response papers to reading assignments and discussion topics.
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final research paper (40%) and presentation on the research paper (10%).

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	A Young People's History of the United States: Columbus to the War on Terror	Howard Zinn, adapted by Rebecca Stefoff	Seven Stories Press	978-1583228692
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1400225	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC202							

授業概要

歴史、社会問題、環境政策、芸術運動などをテーマに取り上げてヨーロッパの一員であるドイツをさまざまな角度から考察する。その際、ただドイツ文化の知識を得るばかりではなく、ものの見方を身につける練習をする。

到達目標

ドイツ語の文化圏について幅広い知識を身につける。文化をさまざまな視点から観察する力を身につけるとともに、授業で得た知識をもとに情報を収集し、自分の考えをまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

興味のあるテーマを見つけて、積極的にその関連図書を参照して理解を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新ドイツの街角から - ドイツ文化事情 -	高橋憲	郁文堂	978-4261012408
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論B						担当教員	橋本 周子
講義コード	1400226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC203							

授業概要

この授業では、フランス文化のいくつかの側面について学びます。フランスとはどのような国で、どのような歴史をたどってきたのか、そうした背景をふまえ、現在のフランスはどのような特徴を持っているかを考えます。かなり広範なテーマを扱うために、個々のテーマは概略的なものとならざるを得ませんが、フランス文化全体を俯瞰することを目標とします。講義を通じ、自分の関心がどこにあるのかをみきわめ、主体的に詳しく調べ検討するための練習もしてもらいます。

到達目標

- (1) 文化について学問的に考えることの面白さを知る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標で示す(1)(2)については期末レポート(50%)
上記以外	50	(2)についてはミニ発表(50%)

ミニ発表については、受講人数をみて、個人またはグループによるものとする。時間はおよそ10分~15分を予定している。発表資料を作成し、授業時間を用いて発表をしてもらう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フランス文化55のキーワード	朝比奈美知子他	ミネルヴァ書房	9784623060153
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考図書、その他資料について、授業中に紹介する。授業初回に、進め方や授業の内容について説明する。

前提学力等

フランス語もあわせて履修しているとなお理解が深まるため、望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化論B						担当教員	橋本 周子
講義コード	1400226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC203							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	
第2回	フランスの歴史 1	古代フランス文化の特徴についてみます。
第3回	フランスの歴史 2	中世フランス文化の特徴についてみます。
第4回	フランスの歴史 3	近代フランス文化の特徴についてみます。
第5回	フランスの歴史 4	現代フランス文化の特徴についてみます。
第6回	フランスの精神 1	「理性」礼賛など、いくつかの思想的特徴についてみます。
第7回	フランスの精神 2	フランス文学についてみます。特に、近代小説と社会の関係、ジャポニスムなどに関して解説します。
第8回	中間まとめ	ここまでの授業をふりかえります。
第9回	様々な芸術のかたち 1	映画を中心に解説します。
第10回	様々な芸術のかたち 2	シャンソンや舞台芸術などについてみていきます。
第11回	生活という名の文化 1	「美食」をテーマに考えます。
第12回	生活という名の文化 2	「フランス人の余暇」について考えます。
第13回	生活という名の文化 3	「生活の諸側面」として、日々の暮らしに欠かせない諸々(交通機関、マルシェ、カフェ・・・)について考えます。
第14回	ミニ発表 1	
第15回	ミニ発表 2	

担当者から一言

講義名	欧米文化論 C						担当教員	山本 薫
講義コード	1400227	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC204							

授業概要

この授業では、19世紀的未以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら議論し、理解することを目指す。必要に応じて、映画化された英国小説もあわせて用い、映像を通して理解を深める。

到達目標

- (1)19世紀的未以降の英国の小説・映画の中で描かれる英国文化の（授業計画で挙げた）さまざまな側面についての議論を通して、「英国人気質」(Britishness)について理解する。
- (2)(1)で考察した英国文化の諸側面を、ヨーロッパ大陸の文化と比較しながら相対化しつつ理解を深める。
- (3)「英国人気質」(Britishness)考察を通して異文化理解、また自国文化の理解についてそれぞれ独自の考えを構築する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	授業中の板書及び授業内の議論内容をしっかりメモし、自分なりのノートをつくり、それを基に期末レポートを作成すること。講義を基に自分なりの英国文化理解ができているかを評価する。
上記以外	60	リスパンス・ペーパーの内容（授業に対する理解度と自分なりの英国像が構築できているかを評価：50点）。 授業中にあげた小説や映画についてのエッセーを、提出数と内容に応じて評価する（10点まで）。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数に合わせて4回に達した時点で評価を受ける資格を失う）。

授業外学習

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んだりみたりすることを勧める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは必要に応じてすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

受講資格ではないが、受講には世界史の知識が必要である。授業での紹介するが、世界史についての本を事前に読んでおくことが望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化論 C							担当教員	山本 薫
講義コード	1400227	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC204								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	授業の進め方とノートの取り方、レポート課題の要点について説明。
第2回	Social Class	『日の名残り』を見ながら、イメージの「英国的気質」について考える。
第3回	Multicultural Britain	映画『この自由な世界で』を見ながら今のロンドンにおける労働者事情と移民問題を考える。
第4回	Multicultural Britain	映画『ロンドン・リバー』を見ながら移民問題について考える。
第5回	Food	英国の食文化の歴史的変遷を辿る。
第6回	Food	前回学んだ英国の歴史・英国的気質を基に、英国料理の画像を英国的気質について見ながら考える。
第7回	Art: Music	ビートルズ、ローリング・ストーン、デヴィッド・ボウイ、コールド・プレイ、ブレイク・スターリン、ワン・ダイレクションを概観する。
第8回	Languages, dialects	例えば映画『リトルダンサー（ピリー・エリオット）』
第9回	Homes, gardens and the countryside	ガーデニングの文化的考察
第10回	Art: Fashionその他	ヨーロッパとの比較において、英国のファッションや絵画を概観する。
第11回	Fantasy	『ハリー・ポッター』『シャーロック・ホームズ』に見る英国的想像力を考える。
第12回	Sports	サッカー、ラグビー、テニスに見る階級
第13回	Politics and government	英国の保守と革新について
第14回	田舎と都会	英国を舞台とする多くの映画や文学作品にみられる田舎と都会の対比を概観する。
第15回	'Britishness' とまとめ	対仏戦争を通して形成されてきた英国（人）のアイデンティティについて

担当者から一言

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んでみたりすることを勧める。

講義名	欧米文化論D						担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400228	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC205							

授業概要

この科目の目的はアフリカ系アメリカ人の歴史を学ぶことによって現在のアメリカ社会の問題を見極め、その解決を見通す視野を培うことです。アフリカ系アメリカ人の歴史についての見識を広げる受信力と、その知識をもとにアメリカ社会の課題を提起する発信力の両方を磨きます。その中で、アフリカ系アメリカ人の歩みを自分自身に引きよせる探求心を養うと同時に、図解・定義・分析といった学術スキルも高めていきます。このようにして、過去と現在という時間軸と、アメリカと日本という空間軸をつなぐことが当科目の価値です。積極的に相互の学びを深めていくために、ペア・ワークやグループ・ワークを中心にした参加型の形態で授業を進めます。アメリカ留学を目指している人・アメリカ留学をひかえている人・アメリカ留学を経験した人の受講を歓迎します。

到達目標

アフリカ系アメリカ人の歴史の一時代の経緯を1つの図式を用いて解説できる。
アフリカ系アメリカ人の歴史の一時代の影響を1段落以上の日本語で記述できる。
アフリカ系アメリカ人の歴史上の出来事の問題を分析し3分間以上日本語で説明できる。
アフリカ系アメリカ人の歴史上の出来事に根ざす現在のアメリカ社会の課題解決を3分間以上日本語で提言できる。
アフリカ系アメリカ人をめぐる10の問題を広く国際社会の動向の中に位置づけながら読み解くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	図解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 関連テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 ポスター・セッション(第14回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象にしません。参加型の授業は遅刻や欠席によって自らとクラスメイトの双方の学習効果を損なうからです。

授業外学習

毎回テキストを読み込んでYouTubeのビデオ教材で理解を確認してることが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アメリカ黒人の歴史	本田創造	岩波書店	4-00-430165-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	海外留学						担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年	授業種別	演習	
ナンバリング番号	2371CC901							

授業概要

世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるといふ点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自の体験についての自己省察を深めてゆくための働きかけをする。

到達目標

- (1) 留学先の大学で語学力を向上させる。
- (2) 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。
- (3) 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

留学帰国後、「海外留学単位認定申請書」に必要事項を記入し、ゼミ指導教員の確認印をもらい、CommunicationLoungeに提出する。トータルの滞在期間、ミニレポートの提出状況等を学科において総合的に判断し、概ね1か月1単位を目安として認定する単位数を学科で決定める。

授業外学習

留学中にレポート課題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

留学先大学が求める語学力をクリアしていること。

履修資格

講義名	開発人類学						担当教員	小河 久志
講義コード	1400262	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

本講義では、途上国に対する開発援助の実践を現地の人々の視点から論じていきます。そもそも途上国への開発援助はなぜ必要なのでしょうか。そしてそれにはどのような方法があるのでしょうか。発展途上国などで行われている開発計画や開発援助計画に我々はどのように関わるべきでしょうか。この講義では、具体的な事例をもとに開発が現地の人びとに及ぼした影響に目を向け、「開発をする側」ではなく「開発をされる人びとの側」からの視点からの理解を深めることを目指します。なお、受講生の理解を深めるため適宜、テーマに関連する映像資料を使用します。

到達目標

- (1) 開発援助の手法と理論について知る。
- (2) 「開発をされる人びとの側」の視点から開発について理解を深める。
- (3) 開発人類学の特色について知る。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	定期試験の結果 (50点満点)
レポート課題	20	中間レポートの結果 (20点満点)
上記以外	30	毎回の授業時に提出してもらうコメントペーパーの内容 (30点満点)

授業外学習

新聞やテレビ、インターネット等を通して、授業テーマに関する情報に接するよう心がけてください。また、授業では、しばしば過去の授業の内容に触れるので、復習をして授業内容に対する理解を深めておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし。代わりに講義時に配布するプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『開発援助と人類学』	佐藤寛・藤掛洋子 (編)	明石書店	9784750334103
2	『実践と感情：開発人類学の展開』	関根久雄 (編)	春風社	9784861104695
3	『グローバル支援の人類学』	信田敏宏・宇田川妙子・白川千尋 (編)	昭和堂	9784812216095

授業中に適宜、紹介します。

前提学力等

文化人類学概論AおよびBを履修していることが好ましい。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業種別	実習	
ナンバリング番号	137BAC101-C							

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習。テーマごとに班編成をし、事前学習、現地でのフィールドワークをおこなう。最終プレゼンテーションでは、実習の成果を英語で発表する。

到達目標

- (1) 文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。
- (2) 地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。
- (3) 個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。
- (4) 調査結果を発表する能力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への参加状況、議論への参加、最終的なプレゼンテーションの状況によって総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 呉 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業種別	実習	
ナンバリング番号	137BAC101-C							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	班分けをし、全体の計画について説明する。
第2回	班別学習（1）	事前学習
第3回	班別学習（2）	事前学習
第4回	班別学習（3）	事前学習
第5回	班別学習（4）	事前学習
第6回	班別学習（5）	事前学習
第7回	班別学習（6）	事前学習
第8回	班別実習（1）	現地でのフィールドワーク
第9回	班別実習（2）	現地でのフィールドワーク
第10回	班別実習（3）	現地でのフィールドワーク
第11回	班別実習（4）	現地でのフィールドワーク
第12回	班別実習（5）	現地でのフィールドワーク
第13回	班別実習（6）	現地でのフィールドワーク
第14回	班別実習（7）	現地でのフィールドワーク
第15回	班別実習（8）	現地でのフィールドワーク
第16回	班別実習（9）	現地でのフィールドワーク
第17回	班別実習（10）	現地でのフィールドワーク
第18回	班別実習（11）	現地でのフィールドワーク
第19回	班別実習（12）	現地でのフィールドワーク
第20回	班別実習（13）	現地でのフィールドワーク
第21回	班別実習（14）	現地でのフィールドワーク
第22回	班別実習（15）	現地でのフィールドワーク
第23回	班別実習（16）	現地でのフィールドワーク
第24回	班別実習（17）	現地でのフィールドワーク
第25回	班別学習（7）	最終プレゼンテーションの準備
第26回	班別学習（8）	最終プレゼンテーションの準備
第27回	班別学習（9）	最終プレゼンテーションの準備
第28回	班別学習（10）	最終プレゼンテーションの準備
第29回	最終プレゼンテーション（1）	英語で成果発表を行う。
第30回	最終プレゼンテーション（2）	英語で成果発表を行う。

担当者から一言

講義名	基礎演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400421	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	2371CC202							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
年度はじめの学科オリエンテーションにおいて詳しく説明する。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのにかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400422	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371CC301							

授業概要

原則として基礎演習 から継続して同じゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
海外留学中の学生も履修し、インターネット等を通じて指導を受ける。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400611	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	4371CC402							

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成に向けての文献収集、調査研究を行い、実際に章立てをおこなってみる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1400612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	4371CC403							

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	言語接触論						担当教員	呉 凌非
講義コード	1400632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC303							

授業概要

基本的には、異文化が接触すれば、言語の接触も伴い、その結果として、外来語が生まれます。異文化の接触を地層調査に類似する考え方で通時的に調査することで、外来語の発生についてみるすることができます。とくに日中間の文化交流が多く、外来語の発生も多いです。それらの外来語の発生の様相、そして現在日中両言語のなかでどのように使われているかななどを講義します。

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 外来語に関連する基礎知識を習得すること
- (3) 日中ことばの交流に関連する知識を習得すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合によって判断します。
レポート課題	25%	授業態度、課題、出席などによって判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書を使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の際に説明します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと。

履修資格

講義名	現代英文法						担当教員	小熊 猛
講義コード	1400633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC301							

授業概要

英語圏への留学する学生にとって、高校で教わった学校文法（規範文法）のみでは不十分な部分が少なくない。この授業では現代言語学の知見を参考に日本語と対照比較ながら英語の文法・語法に加えて、異なる文化背景・状況理解に起因する日ミスコミュニケーションなどの諸問題を理解する。

到達目標

- (1) 類似した語彙・表現の意味的違いを理解できる。
- (2) 冠詞および名詞を正しく用いることができる。
- (3) 提示構文などの構文を正しく用いることができる。
- (4) 「情報構造」を理解できる。
- (5) 英文で書かれた英語語法説明を読み理解できる。
- (6) 異なる文化背景・状況理解に根ざす日英の待遇表現ほかの違いを理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	学期末試験(1)-(6)
レポート課題		
上記以外	30%	授業内での口頭による試問（日本語和訳、内容確認ほか）(5)(6)

4回以上欠席したものは評価対象としない。理由のない遅刻はその程度に拘わらず欠席としてカウントする。

授業外学習

事前に課題文献を予習し、和訳およびその要旨を答えられるように準備すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Polite Fictions in Collision: Why Japanese and Americans Seem Rude to Each Other	Nancy Sakamoto & Shiyo Sakamoto	金星堂	978-4-7647-3778-5
2				
3				

その他、関連する教材は印刷媒体または、PDF電子媒体で事前に配布する。パワーポイント資料を用いて講義を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Practical English Usage third edition	Michael Swan	Oxford	0-19-442-98-1
2				
3				

実践的英語の語法などを知るのに有用な文法書。

前提学力等

2回生以降の英語圏への留学学生を念頭においた授業のため、1年次での履修は原則的に認めない。

履修資格

講義名	英語学基礎						担当教員	小熊 猛
講義コード	1400634	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237ENG201							

授業概要

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、講義およびディスカッションにはできるだけ英語を使用します。受講者は、割り当てられた担当部分の内容を分かりやすく英文レポートにまとめ、英語で発表することが求められます。それぞれの発表の後、発表者の理解に間違いはないか等ディスカッションを行います。なお、英語母語話者による講義を聴き取る能力を維持、向上させるため、課題は論文にかぎらず、音声データを聞き取りも含みます。

授業内容については、認知言語学にとまらずその他の多くの学問領域に影響を与えている文献・論文（英語）および英語講義音声データを使用し、人の思考や概念化について考えます。

到達目標

- (1) 論理的な英文の内容を聴き取れる。
- (2) 論理的な英文の内容を正確に読み取れる。
- (3) 理解した内容を踏まえて英語で説明することができる。
- (4) 英語で議論に参加できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(1):20% (2):20% (3):10%
上記以外	50	到達目標(3)(4) : 20% 読書課題(Reading Assignment)箇所のプレゼン 到達目標(5) : 30% プレゼン内容についての質疑応答・議論

4回以上欠席したものは評価対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントする。

授業外学習

徹底した予習を行い、読書指定箇所の内容を十分にお見込み理解しておくこと。プレゼン担当の場合は、必要に応じてパワーポイント、配布資料等を事前に準備し授業に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料は印刷またはPDF電子媒体で事前に配布。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、15回の内6回は英語による言語学講義の音声データを事前に聴き取り、その内容を理解整理して授業に臨むことが必要である。そのため十分な英語聴解能力および英語でのプレゼンおよびディスカッションが求め

履修資格

講義名	英語学基礎							担当教員	小熊 猛
講義コード	1400634	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237ENG201								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	異文化について、以下の題材でウオーミングアップ You and I are Equals in Polite Fictions in Collision(1-5)
第2回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 1	下記の英語講義音声データについて英語で内容確認を行う。 Lecture 1 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第3回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 1	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 1 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第4回	読解資料 (Lindner (1981))	下記の論文の前半輪読 Lindner,S(1981:305-323) What goes up doesn't necessarily come down
第5回	読解資料 (Lindner (1981))	下記の論文の後半輪読 Lindner,S(1981:305-323) What goes up doesn't necessarily come down
第6回	読解資料 (Dewell (1994))	下記の論文輪読するにあたっての予備的導入講義 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第7回	読解資料 (Dewell (1994))	下記の論文の前半輪読 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第8回	読解資料 (Dewell (1994))	下記の論文の後半輪読 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第9回	読解資料 (Fillmore (1982))	下記の論文輪読するにあたっての予備的導入講義 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第10回	読解資料 (Fillmore (1982))	下記の論文の前半輪読 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第11回	読解資料 (Fillmore C(1982))	下記の論文の後半輪読 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第12回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 2	下記の英語講義音声データについて英語で内容確認を行う。 Lecture 2 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第13回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 2	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 2 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第14回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 3	下記の英語講義音声データについて英語で内容確認を行う。 Lecture 3 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第15回	聴解資料 (Lakoff (2007)より) Lecture 3	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 3 in Ten Lectures on cognitive linguistics

担当者から一言

日本語による解説といった講義形態をできるだけ避け、言語学・英語学の基礎をトピックに留学先で培った英語力を結局的に駆使してディスカッションする授業実践を目指す。なお、プレゼンテーションについては、正確な理解に基づいた文法的に的確な表現 (accuracy) を、ディスカッション

講義名	日本語教育基礎						担当教員	安本 博司
講義コード	1400635	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC205							

授業概要

この授業では、日本語教育の現状の理解、また日本語教育に関わる知識を増やし、それらを基に学生が主体的に授業に参加できる環境をつくっていく。具体的には、教案の作成、模擬授業などを通して、日本語教育の現場では、どのような教え方がされているのか、体験してもらう。

到達目標

- (1) 日本語学習者のニーズを知り、日本語教育の現状を理解する
- (2) 普段、話している、聞いている日本語を意識し、客観的に捉える習慣を身につける
- (3) 日本語を教えるための基礎、方法（教え方の一例）を学び、実践で使えるようになる
- (4) 日本語教育を通して、異文化理解、多文化共生の重要性を認識できるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	0%	
上記以外	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業での発表 40% ・日本語教育に関する知識を問う小テスト(2回) 20% ・平常点(態度、出席、授業への参加度) 40%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

1. 日本語教育に関する小テストを2回実施するため、授業の復習は必須である
2. 模擬授業前の各グループの準備状況いかにによって、授業外で準備が必要になることもある

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語初級 第2版 本冊	スリーエーネットワーク 編著	スリーエーネットワーク	978-4-88319-603-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	日本語教育基礎							担当教員	安本 博司
講義コード	1400635	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC205								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・ 授業の進め方、評価方法などの説明 ・ 日本語教育と国語教育の違い理解する
第2回	日本語教育の現状	・ 国内外の日本語教育の現状を知る ・ 国内外の学習者数、学習者のニーズの把握など -
第3回	教授法	・ 教授法の紹介とその背景にある理論を知る ・ 国内の日本語教育機関でどのような教授法が主として採用されてきたのか概観する
第4回	使用教材と教具の使い方	・ 市販されている日本語テキスト(対象者、目的、特徴など)や教具の使い方についての説明
第5回	教え方のデモンストレーション	・ 入門/初級学習者に対して、教育現場では、実際にどのように教えているのか、テキストを用いて一例を示す
第6回	教案作成	・ 教案の作成の基礎を学ぶ ・ いくつかの教案を見て、その教案を検討する
第7回	教案作成	・ グループに分かれて、初級の文型導入、練習を考え、教案を作成する
第8回	教案に対するフィードバック	・ 出来上がった教案は、各グループで共有し、検討する ・ 教案に対するフィードバック(改善点など提示)
第9回	教案作成	・ グループに分かれて、中級の文型導入、練習を考え、教案を作成する
第10回	教案に対するフィードバック	・ 出来上がった教案は、各グループで共有し、検討する ・ 教案に対するフィードバック(改善点など提示)
第11回	模擬授業の準備	・ 作成した教案を基に、実際の授業を意識して、教具の選定、教材の作成をおこなう ・ 必要に応じて教案を修正する
第12回	模擬授業の準備	・ 作成した教案を基に、実際の授業を意識して、教具の選定、教材の作成をおこなう ・ 必要に応じて教案を修正する
第13回	模擬授業	・ 各グループによる授業 ・ 学生相互のフィードバック
第14回	模擬授業	・ 各グループによる授業 ・ 学生相互のフィードバック
第15回	まとめ フィードバック	教師からのフィードバック
担当者から一言		

講義名	国際社会論						担当教員	大野 光明
講義コード	1400685	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	235S0C213							

授業概要

20世紀後半以降、それまでの国民国家を基本単位とする世界のありようが大きく変わりつつある。その変化は私たちの日常生活にも深く影響を及ぼしてきた。こうした変動はしばしばグローバル化と呼ばれている。この講義では、グローバル化による世界の変化を学び、考える。具体的には、グローバル化が進行するなかで、どのような現象や問題が起こっているのかを理解し、グローバル化する世界と日本社会を的確に認識するための社会(科)学の理論や概念を身につけることを目標とする。

到達目標

- (1) グローバル化の歴史的な展開を理解する。
- (2) グローバル化に関する社会(科)学の諸理論、概念、問題設定を理解する。
- (3) 現代世界で起きている諸現象や問題、実践について、自らの暮らしや経験にひきつけて、国際社会論の視点から考察し、分析できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	中間レポート課題(50%)、最終レポート課題(50%)によって評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、レジュメと資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国境の越え方	西川長夫	平凡社	978-4582763805
2	魂の労働 ネオリベラリズムの権力論	渋谷望	青土社	978-4791760688
3	構造的暴力と平和	ヨハン・ガルトゥング	中央大学出版部	978-4805712115

参考書や参考となる映像資料等については、随時紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	サブカルチャー交流論						担当教員	飯田 玲子
講義コード	1400911	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

サブカルチャーとは何か、そして文化とは何か、文化領域とは何かについて講義をおこなう。特にインドと日本の事例を中心に取り上げる。講義内では、写真や映像資料を用いて「文化」の在り方について分かりやすく提示する。また、実際に映画や動画作品などを横断的に分析し、現代におけるサブカルチャーについて考える。毎授業時に提出してもらったリアクションペーパーを通じて、受講者間での関心や疑問点を共有し、講義の中でも取り上げる。

到達目標

講義を通じて、(1)「文化」とは何か、(2)「サブカルチャー」とは何かという事についての理解を深めるほか、文化領域の存在意義について自ら意見を表明できるようになる事が、講義の到達目標である。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	授業内容を理解しているか、自分の力で論理的に文章を書くことが出来ているかを評価する。
レポート課題		
上記以外	40	毎授業時のリアクションペーパーの内容に基づいて評価をおこなう。

授業外学習

授業外でも、文芸作品や音楽、映画などの鑑賞を通じて講義内容を振り返りながら考えを深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	サブカルチャー交流論						担当教員	飯田 玲子
講義コード	1400911	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	「サブカルチャー」や「文化」をめぐる定義について概論的に説明する。
第2回	文化と権力 植民地インドの形成	「文化」というものが、政治権力などに用いられてきた歴史について講じる。
第3回	植民地と文化	どのように「伝統文化」が創出されるのかを講じる。
第4回	手仕事と博覧会の政治学	どのように「伝統文化」が創出されるのかを講じる。
第5回	文化によって創られる身体	アニメや漫画といった媒体のなかにおけるサブカルチャーについて講じる。
第6回	ジェンダーとサブカルチャー	「文化的なモノ」の消費の側面からサブカルチャーについて講じる。
第7回	「サブカル映画」とはなにか	ジェンダーとサブカルチャーの関係性について、特に衣服から検討する。
第8回	「サブカル映画」とはなにか	ジェンダーとサブカルチャーの関係性について、「女性表象」から検討する。
第9回	社会運動とサブカルチャー	多様な音楽ジャンルが作られる背景と社会について講じる。
第10回	社会運動とサブカルチャー	音楽産業のなかにおけるサブカルチャーの扱いについて講じる。
第11回	ヒッピー、バックパッカーの時代	映画からサブカルチャーを考える。
第12回	「異質な他者」探しの旅へ	作品などの発信に欠かせないメディア形態の発展と進化を講じる。
第13回	グローバル化のなかのサブカルチャー	メディアの発展によって越境する「文化」について講じる。
第14回	ゼロ世代にとってのサブカルチャー	メディアの発展によって越境する「文化」について講じる。
第15回	総括	これまでの講義内容を振り返り、総括をおこなう。

担当者から一言

講義中の私語は厳に慎んで欲しい。

講義名	英語E-learning A						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400965	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	437ENG902							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEIC等のスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
履修にあたっては、必ず担当教員の研究室を訪れて履修に関する説明を受けること。

到達目標

達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):
3年次末: 700~800点
4年次末: 800~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯にどこで学習をしてもよい。
本授業は後期の開講であるが、履修登録を済ませライセンスを購入した時点から1年間、当該のオンライン教材を使用できる。新しいバージョン

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)			
2				
3				

ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)のライセンス(1年間有効)を大学生協にて申し込む。学生自己負担額1500円を支払って手

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning A						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400965	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	437ENG902							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Self-study Session 1	Two hours of online practice.
第2回	Self-study Session 2	Two hours of online practice.
第3回	Self-study Session 3	Two hours of online practice.
第4回	Self-study Session 4	Two hours of online practice.
第5回	Self-study Session 5	Two hours of online practice.
第6回	Self-study Session 6	Two hours of online practice.
第7回	Self-study Session 7	Two hours of online practice.
第8回	Self-study Session 8	Two hours of online practice.
第9回	Self-study Session 9	Two hours of online practice.
第10回	Self-study Session 10	Two hours of online practice.
第11回	Self-study Session 11	Two hours of online practice.
第12回	Self-study Session 12	Two hours of online practice.
第13回	Self-study Session 13	Two hours of online practice.
第14回	Self-study Session 14	Two hours of online practice.
第15回	Self-study Session 15	Two hours of online practice.

担当者から一言

授業の履修を伴わない、ライセンス利用料については、コース終了後に大学からの助成金が還付される手続きとなる。なお、補助対象は1学生につき1年に2ライセンスまでとなっている。

講義名	英語E-learning B						担当教員	John Rippey
講義コード	1400966	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	437ENG903							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEFLスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):
4年次末: 730~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

- 1 学生は学内で、あるいは、学外(家庭)から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
- 2 クラス管理者(教員)は週末の金曜日(あるいは週明けの月曜日)の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
- 3 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単

授業外学習

- 4 クラス管理者は学生の利用状況(利用時間、学習内容)を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)			
2				
3				

ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning C						担当教員	小熊 猛
講義コード	1400967	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG101							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEIC等のスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

履修にあたっては、必ず担当教員の研究室を訪れて履修に関する説明を受けること。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：

3年次末：700～800点

4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯にどこで学習をしてもよい。本授業は後期の開講であるが、履修登録を済ませライセンスを購入した時点から1年間、当該のオンライン教材を使用できる。新しいバージョン

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)			
2				
3				

ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)のライセンス(1年間有効)を大学生協にて申し込む。学生自己負担額1500円を支払って手

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1400981	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG102							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achievement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 0131408836
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1400981	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test, academic English, and study strategies.
第2回	Practice Test	Students take a model TOEFL ITP test as a pre-test.
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Academic Vocabulary	Overview of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks.
第7回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第8回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第9回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第10回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第11回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第12回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第13回	Achievement Review	Comprehensive review of all coursework.
第14回	Proficiency Review	Review for a model TOEFL ITP test to be taken as a post-test.
第15回	Plans of Study	Students generate individual study plans for the summer and fall.

担当者から一言

This is a relatively demanding course, requiring consistent effort. Weekly homework assignments characteristically involve thoughtful completion of reading, listening, and/or grammar exercises.

講義名	Debating Global Issues						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400985	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	2371CC901							

授業概要

In this course, students will prepare for, and participate in, the 2019 Japanese English United Nations held at Kindai University from Saturday July 13th to Monday 15th.

There are two types of role which students can take: delegate or journalist

Participation in an English MUN is a very challenging, but rewarding, experience. Consequently, this course is recommended for confident speakers of English who are willing to work hard.

The dates of the preparation sessions will be scheduled in April, after discussions with participating students. Please contact Martin Hawkes <hawkes.m@shc.usp.ac.jp> before registering for this course.

到達目標

The aims of this course include the following:

- To learn about global issues
- To understand the workings of the United Nations
- To conduct research on contemporary global issues
- To practise English discussion and debating skills
- To participate in an international environment with students from many countries

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 100%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook. Materials will be distributed in class and/or by email.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政治経済学						担当教員	梅澤 直樹
講義コード	1401720	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

経済のグローバル化が深まるなかで、格差の拡大や地球規模での環境問題が深刻化するなど、ひたすら豊かさを追い求め、経済成長を迫ってきた私たちの経済活動のあり方を見つめ直してみようという問題意識も広がっています。本講義では、こうした問題意識を背景に、「市場経済システム」とはどのような特性を帯びた経済活動のあり方なのか、また「資本主義的経済システム」はどのような特性を帯びているのか、さらに豊かさを追い求めてきた「近代」という時代を見つめ直すとするばどのような点に注目してゆくことになるのだろうかといった問題を考察してゆきます。本講義では、経済学の授業に触れる機会はこの講義だけという受講生にも配慮して、古典派経済学と対比しながら現代経済学の主流派の考え方についてまず紹介します。そのうえで、それらとの比較において政治経済学の特徴を明らかにしながら、資本主義的市場経済システムの特性をあらためて見つめ直そうとしたマルクスやJ.S.ミル、さらにセンやポランニーなどを参照しつつ、私たちが暮らしている経済のあり方が常識としていたるところを見つめ直す、つまり「相対化」し、かつてJ.レノンが歌ったように柔軟に「想像力」を膨らませてゆく姿勢や力を培ってゆきたいと思えます。その結果、受講者が、ひとつの答えに満足するのではなく、むしろ複眼で、さまざまな視点から現代経済の課題をめぐって考える力、習慣を身につけてくれることを期待します。

到達目標

- (1) 社会科学の方法について認識を深め、主体的に学習することの重要性を理解する。
- (2) 市場経済システムの特性について理解する。
- (3) 資本主義経済システムの特性について理解する。
- (4) 上記の(1)～(3)を通じて、そのうちに暮らすことで当然のことと常識化してしまっている事柄について、あらためて複眼で多様な視点から見つめ直し、柔軟に想像力を膨らませて、現代社会が直面する問題の解決に向けて回答を模索する力、姿勢、習慣を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	試験問題において、到達目標(1)～(3)について理解度を問うとともに、(4)に関わって、たとえば宅配便のあり方や100円ショップなどについて各自が思うところを論述してもらって、常識にとらわれることなく多様に想像力を膨らませる力をどの程度身につけたかを見る。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書を指定しますので、予習や復習に活用してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代経済学史の射程	長尾伸一、松嶋敦茂他	ミネルヴァ書房	9784623084371
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書と併用して、各回の要点を短くまとめたプリント(パワーポイントスライド)を配布します。

前提学力等

履修資格

講義名	西洋史						担当教員	村上 司樹
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1371LA202							

授業概要

歴史は暗記科目ではありません。授業でお話するのは「単にマニアックな昔ばなし」ではないのです。学ぶのは「現在の西洋をつくってきた積み重ね」です。有名な人物、法律、戦いなどの名前、あるいは711年とか1492年といった年代を、むやみやたらと「暗記する」必要はありません。西洋の文化や習慣、現代日本の私たちがそこから受けている影響について「知る」こと、その知識で「考える」ことが目的です。街なみや食生活、考え方や感じ方にいたるまで、この世界に歴史をもたないものなどありません。現在を知り、未来を考えるためのヒントとして、過去を学んでほしいと思います

到達目標

いまある西洋の風景・文物・習慣などの、あるいは日本人にとって身近な外来文化の、具体的な背景である西洋史の知識を身につける。またそれを確認するための、説得力ある説明の方法も身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	具体的・論理的に説明できているかどうか。論述1問のみ。持ち込み可。
レポート課題	30%	具体的・論理的に説明できているかどうか。形式・採点基準は試験と同様。書き方については、あらかじめ具体的な手引きを配布し、毎回の授業でも折にふれて説明する。
上記以外	30%	毎回提出するレスポンス・ペーパー。具体的・論理的に説明しようとしているかどうか。書き方については、初回授業で説明し、具体例も示したうえ、毎回の授業でも折にふれて説明する。

人名や年号のこまかい暗記も美文を書く才能も必要ありません。課題は少なくありませんが、課題を出す以上、それを評価に変える方法は教えます。出席点はいっさいありませんが、遅刻や欠席によるペナルティもありません。誤っているところ、足りないところを探してマイナスするという減点主義もとりません。教室に来て座っているだけでは1点のプラスにもなりません、何かを書いてマイナスになることもない授業です。

授業外学習

以下2つです。第1には、プリントにはあらかじめ目を通しておき、授業後も2回以上読み返すこと。第2に「自分には知識が足りない」と感じるなら、紹介された文献に目を通すこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使いませんが、例えば「自分は世界史を履修していなかったので知識がありません」という方は、高校の教科書や以下に紹介する参考書を

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]	服部良久・南川高志・山辺規子	ミネルヴァ書房	978-4623045921
2	ヨーロッパの歴史 欧州共通教科書	フレデリック・ドリューシュ(木村尚三朗監修・花上克己訳)	東京書籍	978-4487761708
3	子どもたちに語るヨーロッパ史	ジャック・ル・ゴフ(前田耕作監訳・川崎万里訳)	筑摩書房	978-4480092465

「知識が足りない」「同じ疑問から脱け出せない」という人ほど参考書を読みません。負のループは断ち切りましょう。各回の個別内容についての

前提学力等

くりかえしますが暗記は不要です。しかし例えばスポーツ観戦でも、ルールや選手について豊かな知識を持っている方が適切なコメントや奥深い感想を語るができますし、なにより本人自身がゲームを楽しめます。ですからどうぞ手間暇を惜しまず、参考書を手にとってください。高校世界

履修資格

講義名	西洋史						担当教員	村上 司樹
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1371LA202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業全体のまえおき	この授業のルール、評価はプラス主義で、具体性について
第2回	歴史を学ぶにあたって	学ぶとは無知による偏見から脱け出すこと、「昔だから何でもひどかった」というのは偏見、論理性について
第3回	ローマの伝統	ヨーロッパ文明の3つの水源、時代も立場をこえて「お手本」とされつづけた古代ローマ、ひとつは政治と法制の仕組みづくり
第4回	ローマの伝統	もうひとつは言語および文字文化、古代ローマ人の言語が中世・近世のヨーロッパを結びつけた、古代ローマ帝国はヨーロッパ帝国ではなかった
第5回	ゲルマン人	ヨーロッパ文明の第2の水源、日本人がイメージする「西洋人」の典型、肉・ビール・ズボンをもたらしたゲルマン人
第6回	ゲルマン人	ヨーロッパ各国・各地方の地名の由来に、王侯貴族の人名にも、古代には水と油のように異質だったローマとゲルマン
第7回	キリスト教	ヨーロッパ文明の第3の水源、ファーストネームの圧倒的多数を占める、パンとワインはキリスト教とともに
第8回	キリスト教	日曜日と西暦と世界の終末と、とはいえヨーロッパで生まれた宗教ではない、ローマとゲルマンを結びつけたキリスト教
第9回	世界史のなかの中世ヨーロッパ	中世は「暗黒時代」？、世界的視野で見れば「発展途上」、実態はむしろ「成長の時代」
第10回	封建制	がんじがらめの上下関係？、ヨーロッパ貴族は「上品」「もの静か」という思いこみ、本来は「戦う者」身分
第11回	封建制	分裂は社会の流れだった、共倒れを防ぐためにゆずり合う、パワーバランスで変化する契約関係
第12回	教会の支配	一方的に教義を押しつけて人びとをあやつったわけではない、例えばクリスマス・ツリー、キリスト教や教会の側も現地に適応した
第13回	教会の支配	騎士道を生みだしたの教会のイニシアティブ、魔女狩りをめぐる誤解、むしろ科学の発展をあと押し
第14回	社会経済的成長	本来は農村中心の文明、「肉食＝豊か」というのは思いこみ、ヨーロッパ経済における「北」側優位のはじまり
第15回	社会経済的成長	機械化と大量生産は水車から始まった、領主制とは単なる抑圧・搾取ではない、現代までつづくコミュニティのあり方はここから

担当者から一言

歴史が教えてくれるのは、「すべては表裏一体」ということです。この授業も例外ではありません。テストにレポート、レスポンス・ペーパーと、3つの論述課題がありますが、「やることが多い」とのみ考えるのは一面的。裏返せば「単位取得のチャンスが多い」とも言えるからです。またみ

講義名	卒業研究・論文（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1401826	単位数	4	開講期	前期研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

発展演習I・II、研究演習I・IIでの指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究をする。
7月下旬に進捗発表会にてそれまでの成果を発表する。

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	4月から7月にかけての進捗状況を進捗発表会にて報告する。 成績評価は「合否」を与える。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1401828	単位数	4	開講期	後期研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

「発展演習Ⅰ・Ⅱ」、「研究演習Ⅰ・Ⅱ」、「卒業研究・論文Ⅰ」、での指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究を深め、その成果を論文として提出する。

*

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文に対して、学科で定めた「卒業研究審査基準」に基づいて 審査をおこなう。 成績評価は「合否」を与える。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論 A						担当教員	河 かおる
講義コード	1401865	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137MUS202							

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多文化社会という観点から理解する。先住民族、在日コリアンの歴史と現状、1980年代のインドシナ難民受入と今日の難民受入問題、ブラジル人を中心とした日系人、外国人技能実習生と「外国人材」、結婚移民者、ケア労働など、テーマごとに扱っていく。その中で、滋賀県の事例を紹介しながら地域における多文化社会の形成についても理解を深める。

授業計画は、一部順序が入れ替わるなど変更の可能性があります。講義の初回にシラバスを示します。

到達目標

- (1)日本における少数民族問題について理解する。
- (2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末課題(プレゼンテーション、レポート)
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人-法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	
2				
3				

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論B						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401866	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	3371LA301							

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル=遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	チベット語基礎						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237FRL161							

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

原則、後期のチベット語基礎 を引き続いて受講できる者。

履修資格

講義名	チベット語基礎						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337ENG901							

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

チベット語基礎 を既に受講済みの者に限る。

履修資格

講義名	チベット語基礎							担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG901								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	形容詞と指示代名詞	文法についての解説と練習
第2回	後置詞	文法についての解説と練習
第3回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第4回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第5回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第6回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第7回	反語文	文法についての解説と練習
第8回	形容詞節の作り方	文法についての解説と練習
第9回	不定詞	文法についての解説と練習
第10回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第11回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第12回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第13回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる
第14回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる
第15回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる
担当者から一言		

講義名	中国語コミュニケーション A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137CHN131							

授業概要

本授業は中国語 Aおよび中国語 Bの単位を取得した学生を対象に、中国語 Aおよび中国語 Bと並行開講され、既習の文法知識（基本文型）を整理・復習しながら、実用的な会話を中心としたテキストに沿って、大量の練習問題を解いて行きます。

到達目標

- (1) 簡単な文章を読み、書くことができるようになる。
- (2) 簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	徐 送迎	朝日出版社	ISBN978-4-255-45320-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137CHN131							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	初級から中級への備え	実用的な会話を中心とした中級中国語について
第2回	自己紹介(1)	旅行先で最初に会った時のまとめた自己紹介
第3回	自己紹介(2)	まとめた自己紹介文と練習
第4回	旅行の目的(1)	旅行の目的に関するやり取り
第5回	旅行の目的(2)	旅行の目的に関する文と練習
第6回	再会時のやりとり(1)	友人と再会する際のやり取り
第7回	再会時のやりとり(2)	再会する際のやりとりに関する文と練習
第8回	良い子に旅を(1)	旅の良さに関する会話
第9回	良い子に旅を(2)	旅の良さに関する会話文と練習
第10回	旅行ガイド(1)	外国人観光客を案内する際の会話
第11回	旅行ガイド(2)	外国人を案内する際の会話文と練習
第12回	お客さんを招待する(1)	お客さんを招待する際の会話
第13回	お客さんを招待する(2)	お客さんを招待する際の会話文と練習
第14回	総取りまとめ	今までの会話文の取りまとめ
第15回	総合練習	総合練習
担当者から一言		

講義名	中国語コミュニケーション B						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402082	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137KOR140							

授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 B、中国語 Bを履修した上で、本科目を履修することが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402082	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137K0R140							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	2本のロウソク	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第2回	主語、謂語、賓語	文を構成する主語、述語、目的語について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第3回	うり2つ	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第4回	定語、状語、補語	文を構成する名詞修飾語、動詞修飾語、補語について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第5回	成語故事	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第6回	時間表現と場所表現	文を構成する時間成分、場所成分について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第7回	私は彼女の父親じゃない	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第8回	同伴者、目的	文を構成する同伴成分、目的成分について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第9回	ハッピーニューイヤー	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第10回	主動文、受け身文、使役文	文のパターンの視点から、主動文、受け身文、使役文の3通りに分けられます。それについて説明します。
第11回	悲観と楽観	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第12回	形容詞のいろいろ	中国語の形容詞についてまとめて説明します。
第13回	新婚	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第14回	「把」などの勉強	「把」を含むいくつかの慣用表現の勉強をします。
第15回	まとめ	これまで学んだ知識を整理し、まとめます。

担当者から一言

君欲善其事、必先利其器。

講義名	中国語コミュニケーション A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402083	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237CHN231							

授業概要

本授業は中国語 A、中国語 B、中国語コミュニケーション Aおよび中国語コミュニケーション Bの単位を取得した学生を対象に、初級レベルの能力の維持・強化を図り、実用的なコミュニケーションを中心とした中級レベルの到達を目指します。

到達目標

- (1) 中国語 Aおよび中国語 Aで学んだ文型が口頭で表現できるようになる。
- (2) 少し複雑な表現ができるようになる。
- (3) 比較的容易な読み物の内容を辞書を引きながら理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	徐 送迎	朝日出版社	ISBN978-4-255-45320-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402084	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237FRA222							

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語コミュニケーション Bを履修していることが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語留学対策						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402087	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237KOR240							

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

- (1) 中国語による作文力を高めること
- (2) 中国語会話力を鍛えること
- (3) 中国語語彙を増強すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、課題、学習態度などに基づいて判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	中国語留学対策						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402087	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237KOR240							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	講義の概要と進行について説明します。
第2回	シチュエーション1 紹介する	「自己紹介」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第3回	シチュエーション2 郵便局で	「郵便局で」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第4回	シチュエーション3 レストランで	「レストランで」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第5回	シチュエーション4 電話をかける	「電話をかける」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第6回	シチュエーション5 病院で	「病院で」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第7回	シチュエーション6 許可を求める	「許可を求める」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第8回	シチュエーション7 露天商とのやり取り	「露天商とのやり取り」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第9回	シチュエーション8 大学事務関係とのやり取り	「大学事務関係の方とのやり取り」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第10回	シチュエーション9 道を聞く	「道の聞き方」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第11回	シチュエーション10 忘れ物の問い合わせ	「忘れ物の問い合わせ」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第12回	シチュエーション11 苦情	「苦情を言う」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第13回	シチュエーション12 友達を誘う	「友達を誘う」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第14回	シチュエーション13 趣味を紹介する	「趣味を紹介する」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第15回	シチュエーション14 別れ際のことば	「別れ際」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
担当者から一言		
加油！！		

講義名	朝鮮語コミュニケーション A						担当教員	崔 眞善
講義コード	1402151	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137KOR141							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

会話中心の授業なので、3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

テキストの問題(宿題)単語、会話テスト(小試験)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	978-4-255-55630-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション B						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1402152	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137FLA112							

授業概要

朝鮮語 A・Bで学んだ語彙・文法を基礎にして、辞書を積極的に活用しながら朝鮮語（韓国語）の文章を読み理解した上で、内容について発表したり話しあうことで表現力を身につける。

到達目標

- (1) 朝鮮語の文章の講読能力をつける。正確に日本語に訳せることも含む。
- (2) 理解した内容についての朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる（文字・口頭）。
- (3) 朝鮮語で説明したり、朝鮮語で自分の意見を述べたりできる力をつける。
- (4) 特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、択一式・論述式試験を行う。(10%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10%)
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標各項目について、小テスト・到達確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)15%、(2)15%、(3)10%、(4)20%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。文章理解の確認については最初の何回かは日本語訳の提出により評価する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国文化を読む	曹美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55614-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ハングルが読めることと、最低限過去形までの文法事項を理解していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション B						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1402152	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137FLA112							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業概要、評価などの説明、	漢字起源の単語について(1) 説明の仕方を学ぶ
第2回	第1課 韓国料理の特徴(1)	単語テスト 音読および日本語訳
第3回	第1課 韓国料理の特徴(2)	確認問題 リスニング教材「天気と季節」
第4回	第2課 食事作法(1)	単語テスト 本文の訳読
第5回	第2課 食事作法(2)	確認問題 リスニング教材「家」
第6回	第3課 住宅事情(1)	単語テスト 本文の訳読
第7回	第3課 住宅事情(2)	確認問題 リスニング教材「交通と生活」
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	
第9回	第4課 誕生日と記念行事(1)	単語テスト 本文の訳読
第10回	第4課 誕生日と記念行事(2)	確認問題 リスニング教材「ショッピング」
第11回	第5課 キャンパスライフ(1)	単語テスト 本文の訳読
第12回	第5課 キャンパスライフ(2)	確認問題 リスニング教材「日常生活」
第13回	第6課 余暇の過ごし方(1)	単語テスト 本文の訳読
第14回	第6課 余暇の過ごし方(2)	確認問題 リスニング教材「趣味と余暇活動」
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

音読はこの授業の根幹です。毎回チェックはできませんが、必ず家で音読の練習を心がけてください。

講義名	朝鮮語コミュニケーション A						担当教員	河 かおる
講義コード	1402153	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237KOR241							

授業概要

映画や韓国のインターネットメディアの記事(音源・文字)をテキストにして、読解力・聴解力をつける。さらに映画や記事を通じて現代韓国のホット・イシューについての理解を深めると同時に、記事の内容について朝鮮語(韓国語)で意見を述べたり質問をしたりするコミュニケーション能力をつける。TOPIK(1~2級)もしくはハングル能力検定試験3級レベルを目標に、聴解と読解を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK(1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK(1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 単語の範囲にとどまらず、連語など組合せとして用いられる表現や、使用頻度の高い慣用句なども理解し、使用することができる。
- (4) パソコンのキーボードで朝鮮語のタイピングができる。
- (5) 私的で身近な話題ばかりではなく、親しみのある社会的出来事についても話題にできる。
- (6) 辞書を用いてニュースや映画のシーンを読解、聴解することができる。
- (7) 学習した記事の内容について、質問や意見を表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) TOPIK(1~2級)レベルの文法を理解できる。 (2) TOPIK(1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
レポート課題	10	パソコンのタイピングで朝鮮語でレポートを書く
上記以外	60	発表 20% ・鑑賞した映画について感想や意見を発表できる。 小テスト 20%

授業外学習

毎回の予習
毎回の小テストの準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語能力試験 初級対策単語集	金珉秀	駿河台出版社	978-4-411-03047-4
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・B、朝鮮語 A・B、朝鮮語コミュニケーション A・Bを履修済みであること。もしくは、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A						担当教員	河 かおる
講義コード	1402153	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237KOR241							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	Web辞書、辞書アプリの使い方ガイダンス タイピングのガイダンス
第2回	記事1	・予習を前提に、記事の意味、文法要素、単語や表現を確認していく。 ・一つの記事を読み終わるごとに、感想・意見・質問などを朝鮮語（韓国語）で発表しあう。
第3回	記事2	同上
第4回	記事3	同上
第5回	記事4	同上
第6回	記事5	同上
第7回	到達確認テストおよび解説、事後説明	ハングル能力検定試験4級の過去問を使用し、そのレベルに達しているかを確認する。
第8回	映画1	映画「明日へ」上映
第9回	映画2	感想の発表（タイピングして事前に提出） 主なシーンの台詞の確認・練習
第10回	映画3	についてのQ&A
第11回	記事6	記事1～5と同じ
第12回	記事7	同上
第13回	記事8	同上
第14回	記事9	同上
第15回	記事10	同上
担当者から一言		

講義名	朝鮮語コミュニケーション B						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1402154	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237KOR242							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Bで学んだことを基礎に、日記やレポートなど、比較的長いまとまりのある文を書く力を養う。

到達目標

- (1)韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験3級合格程度の作文の力を身につける。
- (2)留学した際に、試験の答案やレポートを書けるようになるために、辞書を駆使しながら自分が表現したいことを文章で書き表す力を身につける。
- (3)朝鮮語でなされた他人の意見を理解し、それに対して自分の意見を朝鮮語で述べることができるようにする。
- (4)特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力を付ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)(2)について、論述式試験を行う。(30%) 到達目標(4)について、択一式試験を行う。(10%)
レポート課題	20%	到達目標(1)(2)について、レポート課題を課す。(20%)
上記以外	40%	到達目標各項目について、小テスト・到達度確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)(2)10%、(3)20%、(4)10%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国文化を読む	曹美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55614-7
2				
3				

朝鮮語コミュニケーション Bと同じ教科書である。IB参加者は新たに購入する必要はない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ハングルが読めることと、最低限過去形までの文法事項を理解していること。

履修資格

講義名	朝鮮語留学対策						担当教員	崔 眞善
講義コード	1402157	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237FLA230							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

会話中心の授業なので、3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業内容を基本として応用表現も身につけるように練習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	978-4-255-55630-7
2	韓国語中級2講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-182-9
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語留学対策						担当教員	崔 真善
講義コード	1402157	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237FLA230							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	前期の復習（5,6,7課）	前期内容のまとめ
第2回	?	経験に関する表現の練習
第3回	?	関連表現の会話練習
第4回	?	許可に関する表現の練習
第5回	?	関連表現の会話練習
第6回	小テスト	スピーキングテスト
第7回	?	ㄷ変則、砕けた言い方の練習
第8回	?	関連表現の会話練習
第9回	復習（9,10,11課）	
第10回	不規則活用のまとめ	
第11回	体	叙述文体の練習
第12回		婉曲、属性の変化、同時動作などの表現練習
第13回		関連会話練習
第14回	?	選択、推測、意思などの表現練習
第15回	総復習	後期内容のまとめ

担当者から一言

講義名	通訳ガイド講座						担当教員	石井 隆之
講義コード	1402203	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237FRL160							

授業概要

通訳案内士試験では、外国語の運用力とともに日本の歴史や地理、文化の知識も必要とされますが、合格すれば有資格の観光ガイドとしての道が開けます。また、国際協力やビジネス、さらに、通訳者や翻訳家、そして英会話教育の方面に進む場合でも、この資格は有利です。授業では、英語の通訳案内士を目指すに当たり、その基礎となる英文解釈力、英作文力、日本事象説明力という基本3能力を身に付け、さらに、英文解釈に必要な語彙力、英作文に必要な文法力、日本事象に必要な文化力(=日本文化の知識)に磨きをかけます。特に、今期は「日本の宗教」を日本事象の総合テーマとします。

講義は、奇数回が4時間目、偶数回が5時間目となっており、第3回以降第12回まで、原則として、4時間目は、英語(文法、解釈、作文)を中心に学習し、最終的に、英語ライティング能力の向上を図り、5時間目は、日本事象(講義、演習、スピーキング、プレゼンなど)を中心に、日本文化の知識を深めつつ、英語によるプロダクションの能力を培います。

講義の第13回目と第14回目には、日本文化などを中心とした発表(英語によるプレゼン)の機会も設けます。

「オタワ」(面白く、ためになり、分かりやすい)授業を目指しますので、積極的な授業参加を希望します。

【2015年度より開講開始科目】

到達目標

- (1) 通訳案内士試験の概要を把握しながら、受験の準備ができる。
- (2) 通訳ガイドに必要な日本の地理や歴史、文化の概略を確認できる。
- (3) 通訳ガイド(英語)に求められる「英語による基礎的なコミュニケーション」ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	文法力 10% 英文解釈力 10% 英作文力 10%
レポート課題		
上記以外	60%	各回の課題への取り組み 20% プレゼン 20% 以上が到達目標(2)に関係する

3分の1以上を欠席をした場合(但し、公欠を除く)、レポート課題を出す。この課題の評点を、「各課題への取り組み(20%)」に組み入れる。公欠とは、忌引き、交通事情、診断書付きの病欠を指す。

授業外学習

1. 授業で出されたテーマに関する研究を宿題とします。無理のない分量の宿題にします。
2. 小テストは特にありませんが、各回の授業で、演習(主として課題に取り組んだり、試験問題を解くこと)、または、実践的練習(ペアやグループ)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、授業中に資料プリントを配布する。授業の前半は、パワーポイントなどを用いることがある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書などは、授業中に提示する。また、授業中に補足プリントを出すことがある。

前提学力等

本講座を受けるにあたって、TOEICスコアでは600点以上(英検では2級以上)が望ましいですが、将来的に通訳案内士の資格を取りたい学生、また、英語力を向上させたいという熱意のある学生は、TOEICスコアや資格に関係なく受け付けます。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1402281	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137GER111							

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目) で身につけた文法の知識を活用し、読解練習、聞き取り、書き取り、作文を通じてさらに高度なコミュニケーション能力を総合的に身につけることを目指す。授業の進め方に関しては、音読および訳出の練習、文法事項の確認を行う。

到達目標

海外留学先での日常生活などに必要となるドイツ語の運用能力(「読む・書く・聞く」能力)を身につけることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って簡単な文章を読解したり、(2) 作文したりすることができる。(3) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(4) 朗読された文章を聞いて、指定された語彙を書き取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(3) に関しては筆記試験(60%)の成績で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1) に関しては読解練習(20%)、(2) に関しては作文(10%)、(4) に関しては聞き取り練習(10%)の成績で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

ドイツ留学を計画している人は特に語彙や表現を積極的に増やしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介します。

前提学力等

ドイツ語 A と B (全学共通教育科目) を履修していること。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402282	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137FRA120							

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目)で身につけた文法の知識、語彙、表現を活用する。主として会話練習、聞き取りに重点を置いてドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけていく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ドイツ(ドイツ語圏)に留学することになっても困らない程度のコミュニケーション能力を習得させることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(2)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(3)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(4)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1)と(2)に関しては筆記試験(30%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2)に関しては小テスト(10%)、(3)に関しては口述試験(30%)、(4)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:30%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1402283	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237GER211							

授業概要

読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。その際、一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とする。前半では日本文化に関するドイツ語の文章を取り扱う。後半では国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトピックスをはじめとして、さまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。

到達目標

初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要な語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)ドイツ語で一般教養について書かれた文章を、辞書などを使って読解することができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(2)に関しては筆記試験(60%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1)に関しては読解練習(40%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてこよう。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に紹介します。

前提学力等

ドイツ語I(A,B)、(A,B)(全学共通教育科目)を履修していること。またドイツ語コミュニケーション(A,B)を履修していることが望ましい(履修していることを前提としたレベルの授業内容となっています)。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A					担当教員	吉村 淳一
講義コード	1402283	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習
ナンバリング番号	237GER211						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス&文法(1)	初級文法の復習 / 指示代名詞 / 関係代名詞
第2回	文法(2)	接続法
第3回	日本の文化(1)	読解練習
第4回	日本の文化(2)	読解練習
第5回	日本の文化(3)	読解練習
第6回	日本の文化(4)	読解練習
第7回	歴史&地理(1)	読解練習
第8回	歴史&地理(2)	読解練習
第9回	歴史&地理(3)	読解練習
第10回	社会(1)	読解練習
第11回	社会(2) / 芸術	読解練習
第12回	文化(1)	読解練習
第13回	文化(2)	読解練習
第14回	文化(3) / 社会(3)	読解練習
第15回	歴史&地理(4)	読解練習

担当者から一言

言語を習得するには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねてってください。

講義名	ドイツ語コミュニケーション B						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402284	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237GER212							

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B）やドイツ語コミュニケーション A、 Bで身につけた知識を応用し、より高度な会話練習を行う。また留学生活で必要となる表現を学習する。聞き取り練習、書き取り練習やスピーチの練習などを通じて日常生活を始めとしてさまざまな状況に対応できるようにドイツ語の運用能力を磨く。

到達目標

留学先の国で生活するのに必要なドイツ語の運用能力を身につける。より高度なドイツ語文法の知識を応用してただ単純な短い日常会話文だけではなく、コミュニケーションの相手の意見を正確に把握することをめざす。相手に自分の考えを様々なドイツ語の表現を組み合わせる論理的に伝えたりすることができるようになることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得したドイツ語の表現や文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）習得した文法の知識を活用してドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) と (2) に関しては筆記試験 (5 0 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(2) に関しては小テスト (1 0 %) 、 (3) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 4 0 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	ドイツ語留学対策						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402287	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237FRA220							

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B ）やドイツ語コミュニケーション A、 B で身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（ 4 ）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1) と (2) に関しては筆記試験 (30 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2) に関しては小テスト (10 %)、(3) に関しては口述試験 (30 %)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 30 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	人間文化論 A						担当教員	藤木 庸介 / Borjigin Burensain / 木村 裕 / 中井 均 / 今井 絵理
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102							

授業概要

人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5つのレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。

到達目標

- (1)人間の文化に関する知識を幅広く身につけ、理解できる。
- (2)学問領域を越えて、多様なできごとに興味と関心を持つ態度を持つことができる。
- (3)自分の領域で直面している問題に対して、他領域の人々とディスカッションを行い、柔軟な思考と判断を行うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート課題（学生による学科間ディスカッションによるもの）
上記以外	50	各対談時のレスポンスペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論 A							担当教員	藤木 庸介 / Borjigin Burensain / 木村 裕 / 中井 均 / 今井 絵理
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	この講義の進め方に関するガイダンス。
第2回	地域文化 × 生活栄養	第2回～第11回は各学科から一人の教員が対談形式の講義を行います。学科の組み合わせの日取りは変更される場合があります。教員の組み合わせと講義タイトルは4月のオリエンテーション時に伝え
第3回	生活デザイン × 地域文化	
第4回	地域文化 × 人間関係	
第5回	人間関係 × 生活デザイン	
第6回	生活デザイン × 生活栄養	
第7回	国際コミュニケーション × 地域文化	
第8回	人間関係 × 国際コミュニケーション	
第9回	生活デザイン × 国際コミュニケーション	
第10回	国際コミュニケーション × 生活栄養	
第11回	生活栄養 × 人間関係	
第12回	各学科によるまとめ (1)	生活栄養学科まとめ / 地域文化学科まとめ / 生活デザイン学科まとめ
第13回	各学科によるまとめ (2)	国際コミュニケーション学科まとめ / 人間関係学科まとめ / 次週の準備
第14回	学生自身によるディスカッション	各5学科から最低1人を含むチームを作り、他学科の学生との討議を行います。
第15回	ディスカッションをまとめる	レポートをまとめるためのガイダンス。
担当者から一言		

講義名	人間文化論B						担当教員	亀井 若菜 / 東 幸代 / 吉村 淳一 / 横田 祥子 / 谷口 真紀
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	亀井 若菜 / 東 幸代 / 吉村 淳一 / 横田 祥子 / 谷口 真紀
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	新渡戸稲造の文化学术交流その1: 「太平洋の架け橋」の両側	ペアトーク・グループワーク・全体発表を交え、なぜ新渡戸 (1862-1933) はアメリカで英文著書『武士道』を出版したのかに迫る。(谷口真紀)
第2回	新渡戸稲造の文化学术交流その2: 「国際連盟の星」の明暗	ペアトーク・グループワーク・全体発表を交え、なぜ新渡戸 (1862-1933) は植民地台湾での仕事を引き受けたのかに迫る。(谷口真紀)
第3回	新渡戸稲造の文化学术交流その3: 「平和の使徒」の功罪	ペアトーク・グループワーク・全体発表を交え、なぜ新渡戸 (1862-1933) は満州事変での日本の立場を擁護したのかに迫る。(谷口真紀)
第4回	食文化を通してみる文化交流 1	ファストフードの地域戦略を考える。(横田祥子)
第5回	食文化を通してみる文化交流 2	日本におけるハラールフードについて考える。(横田祥子)
第6回	食文化を通してみる文化交流 3	海を渡った中華料理の現地化について考える。(横田祥子)
第7回	日本人の世界観と「鎖国」	日本人の世界観と、その形成要因について考える。
第8回	「鎖国」体制下の対外関係	いわゆる「鎖国」について学ぶ。
第9回	「鎖国」体制下の対外関係	いわゆる「鎖国」の影響について、諸外国との関係や日本人の対外観を考える。
第10回	異文化を象徴する女性像 1	異文化は美術において、女性像を用い象徴的な意味を持たせて表現されることがある。3回を通してその事例を見ていきたい。
第11回	異文化を象徴する女性像 2	女性画家が描く場合(亀井若菜)
第12回	異文化を象徴する女性像 3	ジャポニスムの事例(亀井若菜)
第13回	多言語の状況 スイスの事例	言語意識、言語政策、言語教育、言語対立などの観点からドイツ周辺諸国の多言語状況を概観する。初回は4つの言語を公用語とするスイスの事例を取り上げる。(吉村淳一)
第14回	多言語の状況 ベルギーの事例	3つの言語(オランダ語、フランス語、ドイツ語)を公用語とし、地域別一言語主義という特殊な状況に置かれているベルギーの事例を取り上げる。(吉村淳一)
第15回	多言語の状況 ルクセンブルクの事例	3つの言語(ルクセンブルク語、フランス語、ドイツ語)を公用語とし、三言語併用社会を形成しているルクセンブルクの事例を取り上げる。(吉村淳一)

担当者から一言

講義名	人間文化論 C						担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点をとりあげながら、健康を維持・増進するための食生活について5回講義する(生活栄養学科教員)。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになるとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。
(生活栄養学科教員) 現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。
(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	(宮本・横田)到達目標の(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること、(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる、については、課題レポート(33%:(1)19%、(2)14%)

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論C							担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *	
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義			
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203									

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	日本の住まい	日本の住宅について概観する。
第2回	超高齢社会における住環境	超高齢社会における日本の住宅問題について考えるきっかけとする。
第3回	日本のあかり	日本のあかりの歴史について概観し、現代の照明環境について考える。
第4回	ファッション消費環境	衣服は最もからだに近い環境である。その視点から、服と人間とのかかわりについての問題点を考える。
第5回	ファッション産業をとりまく環境	毎日からだに身につける服がどのような環境で作られているのか、より広い視野で衣服と環境について考える。
第6回	日本人の食事の変遷	日本人の食文化と食事について解説するとともに、現代の日本人の目指す食事について考察する。
第7回	日本の食糧事情	現在、私たちはどのような食の環境の中に置かれ、どのような食の問題を抱えているのか、食の安全・安心について考える。
第8回	健康食品とサプリメント	近年、いわゆる健康食品やサプリメントが数多く市場に出まわっている。その機能性や摂取法、健康被害にあわないための注意点などについて述べる。
第9回	健康を維持増進するため食生活	生活習慣病予防のために、何を・いつ・どのように食べるのかについて述べる
第10回	「食べる力」=「生きる力」を育む食育～実践力を育てる～	「食べる力」を育む実践力の強化法について述べる。
第11回	家族のなりたちと人間の心理	進化心理学、あるいは文化心理学の観点から、人間の家族のもつ特殊性、家族の成立する要件などについて外観する。また、そのことが食生活や、住居の問題といかに密接につながっているのかについて
第12回	家族を形成する心理	恋愛から結婚、出産というライフイベントを人はどのように経験し、のりこえていくのか。そこに心理学的にどのような問題が生じていくのかについて家族心理学的観点から述べる。
第13回	家族を維持する心理	出産、育児と、仕事との両立、あるいは父親の育児参加といった問題について、家族心理学的観点から述べる。
第14回	家族関係の歪みをもたらすもの	家族をいとなんでいこうとて遭遇する障害や病理、具体的には愛着の問題、産後うつ、思春期の不適応などについて述べる
第15回	家族関係の社会学	家族関係が社会関係により、いかに相互に影響されあっているのかについて、社会学的観点から述べる。
担当者から一言		

講義名	発展演習						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1402621	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	3371CC302							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 島村 一平 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John
講義コード	1402622	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	4371CC401							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Public Speaking						担当教員	John Rippey
講義コード	1402624	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337ENG301							

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students first read about and watch examples of public speaking and then extensively practice their own speeches. In this course, students strengthen three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner. All three types of speech are commonly used in educational settings; the course offers preparation for study abroad experiences as well as general strengthening of English productive skills.

到達目標

- (1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
- (2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
- (3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
- (4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A						担当教員	橋本 周子
講義コード	1402901	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	137FRA121							

授業概要

フランス留学を視野に入れた、初～中級のフランス語の授業です。前期半年間に学習した初級文法の知識をもとに、より実践的なシチュエーションにおけるフランス語運用を目指します。ある程度まとまった長さの文章を読解するとともに、簡単な会話の実践、聞き取りや書き取りを行います。文法知識の定着を図りつつ、現地での生活をスムーズに開始できるように準備します。

到達目標

- (1) フランス語初～中級程度の文章を理解できる。
(2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す(1)については、定期試験(50%)および中間小テスト(25%)
レポート課題		
上記以外	25	(2)については毎回の予習が確実にできているかの確認(25%)によって評価する。

学期半ばに、前半を総括する中間小テストを実施する。

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテキスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Les jeunes Français d'aujourd'hui		朝日出版社	9784255352633
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション B						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402902	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講	
ナンバリング番号	137CHN130							

授業概要

この授業で直ぐに使える便利な構造を学ぶ。
 様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
 そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
 「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A						担当教員	橋本 周子
講義コード	1402903	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	237FRA221							

授業概要

フランス留学を視野に入れた、中級フランス語の授業です。初級文法で学習した知識を用い、ある程度まとまった長さの文章を読解していきます。文法知識の定着を図りつつ、フランス語圏（フランコフォニー）の実情に関する知見も養います。読解が授業の中心となりますが、適切なイントネーションで長文を声に出して読む練習も行います。なお、進度については、習熟度によって、下記【授業計画】よりも遅く展開する可能性があります。

到達目標

- (1) フランス語中級程度の文章を理解できる。
- (2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す(1)については、定期試験(50%)および中間試験(25%)
レポート課題	25	(2)については毎回の予習が確実にできているかの確認(25%)によって評価する。
上記以外		

学期途中に、中間試験と称して確認の小テストを実施する。

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテキスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Destination Francophonie	Sachiko Komatsu, Gilles Delmaire	駿河台出版社	978-4-411-00927-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション B						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402904	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講	
ナンバリング番号	237CHN230							

授業概要

この授業はフランス語コミュニケーション Bの続きです。
様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語留学対策						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402907	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講	
ナンバリング番号	237CHN232							

授業概要

留学を予定している学生やモチベーションが高い学生のための授業です。

次のテーマを学びます：

- 過去の出来事について語る
- 子供の時の思い出を語る
- 有名人の伝記を語る
- 手紙やはがきの返事を書く
- 日本の物語を語る
- 物を描写する
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	プレゼンテーション X 2 = 20 + 文章 X 2 = 20

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

去年の教科書とコピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語留学対策						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402907	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講	
ナンバリング番号	237CHN232							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	過去の出来事 (1)	授業の目標 した旅行を物語る: Voyage à Tahiti
第2回	過去の出来事 (2)	した旅行を物語る: Voyage à Paris
第3回	過去の出来事 (3)	葉書を書く: Chère Léa (Leçon 19)
第4回	子供の時の思い出 (1)	Enfant de la ville (1) (Leçon 29)
第5回	子供の時の思い出 (2)	Enfant de la ville (2) (Leçon 29)
第6回	プレゼンテーション # 1	Présentations orales n.1: «Quand j'étais petit(e)...»
第7回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ (1)	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (1)
第8回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ (2)	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (2)
第9回	三面記事 (1)	Fait divers (1) (Leçon 30)
第10回	三面記事 (2)	Fait divers (2) (Leçon 30)
第11回	有名人の伝記 (1)	Ma première histoire d'amour (1) (Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける (1)
第12回	有名人の伝記 (2)	Ma première histoire d'amour (2) (Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける (2)
第13回	物を描写	La 2CV... et autres symboles (Leçon 32)
第14回	プレゼンテーション # 2	Présentations orales n.2: présenter un objet symbolisant le Japon et son histoire
第15回	将来の計画	Projets d'avenir (Leçon 34)

担当者から一言

講義名	文化人類学概論 A						担当教員	島村 一平
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1371LA203							

授業概要

文化人類学は、異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある。国境を越えて様々な人々が行き交う現代、文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は、益々、重要性を持つものだと考えられる。俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。本講義ではこうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性がある。

到達目標

1) 文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に付けることができる。
 2) まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方が身に付く。3) 一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性が見いだせるようになる。
 4) 我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことも理解できるようになる。(日本の文化を相対的に眺めるといふ視点を身に付けることができるようになる)。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	穴埋め試験・・・文化人類学の基礎的な理論を理解できているか。あるいは著名な文化人類学者の名前なども問う。記述試験・・・論理的であること。文化人類学の概念を正確に理解できていること。発想にオリジナリティがあること。
レポート課題	40	論理的であること。文化人類学の用語が正確に理解し、使えていること。ネット情報だけに頼らず、文献も調べていること。
上記以外		

授業外学習

各回の該当する教科書の部分は、事前に読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学カレッジ版	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2	文化人類学キーワード	山下晋司・船曳建夫	有斐閣	978464105886
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	よくわかる文化人類学	綾部恒雄・桑山敬己	ミネルヴァ書房	4623045773
2	よくわかる異文化コミュニケーション	池田理知子	ミネルヴァ書房	9784623056095
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	文化人類学概論A						担当教員	島村 一平
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1371LA203							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス：異文化理解の方法論としての文化人類学	文化人類学とは、どのような学問なのかを概観します。さらに、それが異文化理解の方法としてなぜ有効なのかを考えていきます。
第2回	人間と文化	文化人類学の基礎概念である「文化相対主義」について学びます。
第3回	文化人類学と質的研究	文化人類学的フィールドワークでは、「質的な思考」や「質的研究」を重要視します。ここで質的研究とは何なのかを学びます。
第4回	文化人類学と質的研究	文化人類学の方法論であるエスノグラフィーについて学びます。 教科書『カレッジ版文化人類学』第2章p.32 - p.49
第5回	ディスカッション	これまでの講義の内容についてディスカッションを行います。テーマは、「自文化を相対化する」「やってみたい質的調査」などを予定しています。
第6回	他者性と西洋近代	「異文化」という言葉に代表される「他者化」の背後に潜む歴史を紐解きます。 ミネルヴァ書房『よくわかる文化人類学』p. 174-177
第7回	人生と通過儀礼	われわれは人生の中でさまざまな通過儀礼を経験します。ここでは通過儀礼とは何か、その説明原理である境界理論などを学びます。
第8回	儀礼の構造とコミュニタス	ファンヘネップの「儀礼の構造」論やターナーの「コミュニタス」論を学びます。時間や空間の人為性という概念を理解します。
第9回	宗教と世界観 : 文化人類学と宗教・邪術	人類にとって普遍的な宗教現象や宗教意識の深奥にまでさかのぼって考察します。今回は、宗教やその大元となる呪術的思考の源泉まで、ふれて人間にとって宗教とは何かという問題に迫っていきます。
第10回	宗教と世界観 : 妖術・シャーマニズム・宗教と民族復興	ここでは災厄の説明原理としての「妖術」やシャーマニズムについて学びます。また、宗教が民族復興と関連していることについて学びます。
第11回	宗教と世界観 : グローバル化時代における宗教	この回では、グローバル化する世界と宗教の問題について考えていきます。
第12回	ディスカッション	これまでの講義内容についてディスカッションを行います。テーマは、「近代化と妖術と邪術」「宗教と民族問題」などを予定しています。
第13回	異文化接触	この回では、異文化接触において、コンフリクトがおきるのが当然と思いがちだが、いかにしてコンフリクトが生まれたり、そのきっかけとなる偏見が生まれるのか、そのメカニズムを明らかにしま
第14回	「日本人論」を相対化する	日本人とは何か、という問題について、欧米を中心にした外国のみならず日本でも多くの議論がなされてきました。我々はなぜ「日本人論」がすきなのか、欧米が描く日本人論と何が違うのか、考察を
第15回	ディスカッション	これまでの講義内容についてディスカッションを行います。
担当者から一言		

講義名	文化人類学概論 B						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402970	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ILA201							

授業概要

文化人類学において蓄積されてきた知見のうち、1) 親族研究、2) 医療人類学、3) 「死」とそれにまつわるシンボリズムと儀礼の研究を中心に論じる。

到達目標

文化人類学の広範な学問的蓄積の中で、特に親族研究についての理論、知見についての知識の獲得を目指す。また医療人類学や葬送儀礼についても学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	講義で紹介してきた文化人類学の理論や用語、代表的な研究、事例についての理解度を評価基準とする。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学(カレッジ版)	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学特論						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	3371LA303							

授業概要

人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。

到達目標

性、誕生、死といった人間の普遍的な事象を考察することを通じて、文化の特殊性と、人間存在の普遍性についての考察を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業中に紹介した文化人類学のタームや理論についての理解度を評価基準とする。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	翻訳文化論						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402992	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	337LAC304							

授業概要

翻訳は単なる手作業の一つだと思われがちですが、日本の科学研究に大きく寄与してきた翻訳自体も学問としてとらえることの重要性がかなり認識されてきました。国際コミュニケーション学科の学生は翻訳文化論を通して翻訳の基本を知ることができるのみならず、国際感覚を身につけることもできます。この講義は人間による翻訳とコンピューターによる翻訳の比較をしながら進めていきます

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 人間によることばの翻訳に関する知識を習得すること
- (3) コンピューターによることばの翻訳に関する知識を理解すること
- (4) 宿題を提出すること 成績評価

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などで判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の際に紹介します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと

履修資格

講義名	モンゴル語 A						担当教員	島村 一平
講義コード	1403036	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137MNG151							

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている。本講義（I A）では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法をマスターすることを目的とする。

1 B は、会話中心の講義を行うものとする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。そのために学生の学習進度に応じて、教科書以外に映画やポピュラー音楽、民謡の歌詞などを教材に取り入れる。

到達目標

モンゴル語の基礎文法を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	小テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級モンゴル語	塩谷茂樹、E. プレブジャブ	大学書林	
2				
3				

初回授業に持参するもの：教科書、そして愛と好奇心。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

なし。

履修資格

講義名	モンゴル語 B						担当教員	島村 一平
講義コード	1403037	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237MNG250							

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。本講義では、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。

到達目標

(1)モンゴル語で基本的な日常会話ができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト 簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	すぐに役立つ 最新モンゴル語会話	近藤和正	テンブックス	9784886960351
2				
3				

教科書と情熱

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル語 A						担当教員	未定*
講義コード	1403038	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237MNG251							

授業概要

モンゴル語 で学んだ基礎文法や単語を活用し、さらに実用的な読解能力、筆記能力およびコミュニケーション能力を身につける。さまざまな日常場面で必要とされるモンゴル語特有の表現や発音に慣れるため、受講生にはとんとん声を出してもらおう機会をつくる。また、マナーや年中行事、流行、ゲーム、漫画などを通して、遊牧文化や現代モンゴル社会に対する理解を深める。

到達目標

- (1) 基礎単語を習得し、正しく発音できる。
- (2) 初級レベルの文法項目を正しく理解し、自身で使いこなせる。
- (3) 正書法を正しく理解し、読み書きができる。
- (4) 辞書を用いて、文章の意味を正しく理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)～(4)について、筆記試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	毎回授業の始めに前回の内容の復習小テストを実施する。

授業時間数の30%以上を欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

予習は不要。復習はしっかりと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業では、モンゴル語のテキストを随時配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	すぐに役立つモンゴル語会話	近藤和正	TEN BOOKS	4-88696-008-1
2	入門モンゴル語	タニ ヒロユキ	私家版電子ファイル	
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語 で学んだ語彙および文法事項を習得していること。

履修資格

講義名	モンゴル語 A							担当教員	未定*
講義コード	1403038	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237MNG251								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	自己紹介	モンゴル語のあいさつ、自己紹介の練習。
第2回	モンゴル地図	モンゴル国の地図の読解：地理について概要を把握する。
第3回	ウランバートル市	首都ウランバートル市内地図の読解。
第4回	モンゴルの住居	文章の読解：都市の住居、草原の住居（ゲル）の機能。
第5回	生活用具	文章の読解：家具や生活用具の配置と機能。
第6回	お金	現地通貨トゥグルクの表記と聞き取り練習。
第7回	さまざまな数字	数字の表記と書き取り練習。
第8回	食事 都市	食材および料理名を通じた動詞の活用法。
第9回	食事 草原	食材および料理名を通じた動詞の活用法。
第10回	5家畜（ウマ、ウシ、ラクダ、ヤギ、ヒツジ）	家畜に関する形容表現。
第11回	モンゴルの遊び	文章の読解：シャガイ（くるぶしの骨）を使った遊び。
第12回	旧正月	文章の読解：旧正月の過ごし方。
第13回	右手尊重のマナー	文章の読解：モンゴル人の身体技法。
第14回	ハダグ（儀礼用絹布）を捧げる伝統	文章の読解：ハダグ（儀礼用絹布）の贈答法。
第15回	モンゴル漫画	くだけた会話の練習。

担当者から一言

授業ではモンゴルの文化や社会事情についてもできるだけ触れていきます。
分からないことがあれば、授業中になんでも質問してください。

講義名	モンゴル語 B						担当教員	島村 一平
講義コード	1403039	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137GER110							

授業概要

本講義では、新聞や雑誌、インターネットの文章などを読みながら、文法の定着を目指す。
また、新聞や雑誌を通して、現代モンゴル社会への理解を深めていきたい。
そのほか、インターネットのブログやチャットなどで使われているモンゴル語なども学ぶことで、モンゴル人とインターネットを利用したコミュニケーションをする能力を身につけていく。
実際にモンゴル人ブログに書き込むといったトレーニングにもチャレンジすることも検討している。

到達目標

- (1)受講生は、モンゴル語で辞書を使いながら新聞や雑誌、インターネットのサイトを読む能力が身に付く。
- (2)ネットでモンゴル人とコミュニケーションする能力も身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	モンゴル語の新聞や雑誌を読解できるか。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト。 作文能力をとう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

与えられたテキストは、わからない単語を辞書で前もって調べておくこと。
予習・復習は忘れずに。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションA [モンゴル語コミュニケーション A]						担当教員	内田 孝
講義コード	1403051	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137FLA103							

授業概要

この授業では、モンゴル語による様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、基礎的な語彙と初中級レベルの文法の復習・定着練習を行う。家族や友人、買い物などでよく使われる日常的表現や話題に関して、的確な状況説明や自己表現が行えるようになることを目指す。

到達目標

- (1) 基礎単語を習得し、自身で使いこなせる。
- (2) 初中級レベルの文法項目を実際の会話の中で理解し、また自身で使いこなせる。
- (3) 初中級レベルの総合的な聴解力を習得している。
- (4) 辞書を用いれば自分の力で会話・文の意味を正しく理解できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(1)～(3)について、口頭会話による試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標各項目に関連し、小テスト(語彙・会話・文法・読解)、発表を行う。

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

自分自身で予習・復習をしっかりと行い、既習の語彙・文法項目を定着させるように努めること。
発音練習を繰り返し行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく予定である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを自習に役立ててください。

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションB [モンゴル語コミュニケーションB]						担当教員	未定*
講義コード	1403052	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137ENG103							

授業概要

モンゴル民族の伝統文字であり、現在の中国領内モンゴル自治区などで使用されている「ウイグル式モンゴル文字」の読み書きができることを目指して基層から教える。

到達目標

ウイグル式モンゴル文字を読み書きできる入門知識を取得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の二の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

フフバートル著、小沢重男監修『モンゴル基礎文法』インタブック、1993

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

モンゴル語関連授業を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	ウイグル式モンゴル文字史料講読[モンゴル語史料講読]						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403063	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	237LAC201							

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字で書かれたモンゴルの歴史に関する様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された宿題をこなすこと
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「アジア文化論A」「多文化社会論B」やモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	比較宗教論						担当教員	島村 一平
講義コード	1403075	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1371LA205							

授業概要

グローバル化が進む現在、世界の大都市では、様々な宗教的背景を背負った人々が暮らしている。キリスト教、イスラーム、仏教といった世界宗教のみならず、ヒンズー教やユダヤ教といったエスニックな宗教も国境を越えて世界中のいたるところで信仰されている。また政教分離を謳っているはずの近代国家も、その「世俗性」が再考される時代となっている。例えば、アメリカは、トランプ政権以降、キリスト教原理主義的傾向を強めていると言われる。

しかし、我々はどれだけ宗教について知っているだろうか。俗に日本人は宗教音痴だという。自らの「宗教」に対しても無頓着である一方で、他者の宗教に対する理解もあまりない。しかしグローバル化する世界において、宗教に関する基礎的な教養は、様々な文化的背景を持つ人々と付き合っていく上で必須のものであるといえよう。

そこで本講義では、キリスト教、イスラーム、仏教といった世界宗教を中心に、その成り立ちや基本的な考え方、社会に与えたインパクトなどを平易に解説していこうと思う。基本的に教科書の構成に準じて解説をしていく。またこの講義は、受講者の予習と積極的な発言を求める。

到達目標

- 1) キリスト教、仏教、イスラームといった大宗教の基本的な考え方が理解できるようになる。
- 2) それぞれの宗教が社会に対して、どのような影響を与えたのか、宗教社会学的に考察できるようになる。
- 3) 日本人の信仰形態を世界の諸宗教との比較の中で、位置付けるといった視点が獲得できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験 論述式。
レポート課題	40	レポート提出2回
上記以外		

授業外学習

教科書は必ず購入し、予習復習すること。参考書もできれば買うことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解 世界5大宗教全史	中村圭志	Discover	9784799318683
2	聖書、コーラン、仏典	中村圭志	中央公論	9784121024596
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	原始仏典	中村元	筑摩書房	9784480093677
2	イスラーム文化	井筒俊彦	岩波書店	9784003318515
3	熱狂する「神の国」アメリカ	松本佐保	文芸春秋	9784166610815

授業中にレジュメを配布する

前提学力等

履修資格

